

令和元年度 根拠資料一覧表

資料 01	平成 30 年度	和歌山県立医科大学教育研究開発センター部会委員（医学部委員会）名簿
資料 02	平成 30 年度	教育研究審議会委員名簿
資料 03	平成 30 年度	和歌山県公立大学法人評価委員会委員名簿
資料 04a		社会医学系検討ワーキンググループ名簿
資料 04b		医学教育モデル・コア・カリキュラム対応表（サンプル）
資料 05	平成 30 年度	1,3,5,6 年生カリキュラム
資料 06	平成 30 年度	基礎配属報告会開催概要
資料 07	平成 30 年度	4 年生特別講義資料（ワークライフバランス、地域医療）
資料 08	平成 30 年度	ケアマインド教育スケジュール表
資料 09a	平成 30 年度	系統解剖実習資料
資料 09b	平成 30 年度	シラバス「医学英語、免疫と生体防御、遺伝子と遺伝子異常」
資料 10	平成 29、30 年度	臨床実習要綱別冊（選択制）臨床実習日程
資料 11		現 6 年生への選択実習の希望調査票
資料 12	平成 30 年度	第 1 回カリキュラム専門部会議事録
資料 13	平成 30 年度	臨床実習後客観的臨床能力試験実施計画
資料 14	平成 30 年度	卒業試験（1 回目,2 回目）正答表紙
資料 15		レスポンスアナライザー使用実績
資料 16a		mini-CEX のオンラインフォームについて
資料 16b	平成 30 年度	第 2 回臨床実習ディレクター会議議事録
資料 17a	平成 30 年度	第 1 回教務学生委員会議事録
資料 17b		担任制について
資料 17c		医学部生の相談ホットライン（学内ホームページ内）
資料 17d		学生相談室の配置図
資料 18	平成 27 年度～令和元年度	医学部教員男女別人数
資料 19		和歌山県立医科大学教員選考規程
資料 20		ワークライフバランス支援センター（学内ホームページ内）
資料 21		クレヨン保育園の案内
資料 22	平成 30 年度	FD 研修会一覧
資料 23		津波避難経路図
資料 24		学生カルテ操作演習マニュアル
資料 25		スキルスラボ職員名簿
資料 26		教務学務システム検討ワーキンググループ名簿
資料 27		学内ページ（E ラーニングシステム）
資料 28		該当教員の教育研究開発センター勤務発令辞令
資料 29		Certificate for Medical Clerkship

- 資料 30 情報基盤センター検討ワーキング資料
- 資料 31 平成 30 年度 臨床実習要綱別冊（選択制） 紀北分院（総合診療科）
- 資料 32 紀北分院 外来担当医表
- 資料 33 授業評価に係る改善計画等について
- 資料 34 平成 30 年度シラバス「学生による授業評価について」
- 資料 35 平成 29 年度年間事業実績報告書「開催した部会一覧」
- 資料 36 教育研究開発センター ホームページ（部会・委員会）

平成30年度 教育研究開発センター

各部会部会長・副部会長・部会委員（医学部委員会）名簿

※ 任期：平成30年4月1日～平成32年3月31日（2年）

【カリキュラム専門部会】

部会長	村田 顕也	(教育研究開発センター長) (医学部委員会委員長)
副部会長	柳川 敏彦	(保健看護学部長)
	廣田 麻子	(教養・医学教育大講座 教授)
	平井 秀一	(教養・医学教育大講座 教授)
	森川 吉博	(解剖学(2) 教授)
	改正 恒康	(生体調節機構研究部 教授)
	山田 源	(遺伝子制御学研究部 教授)
	赤阪 隆史	(内科学(4) 教授)
	伊東 秀文	(神経内科学 教授)
	鈴木 啓之	(小児科学 教授)
	中尾 直之	(脳神経外科学 教授)
	井筒 一彦	(産科婦人科学 教授)
	廣西 昌也	(紀北分院総合内科学 教授)
	上野 雅也	(地域医療支援センター長 教授)
	森 めぐみ	(教育研究開発センター 助教)

学生委員 2名 ※学生自治会代議員会において毎年度選出する。

(医学部4年生)

(医学部4年生)

【臨床技能教育部会】

部会長	加藤 正哉	(救急・集中治療医学 教授) (医学部委員会委員長・OSCE実施責任者)
副部会長	柳川 敏彦	(保健看護学部長)
◎OSCE実施委員		
	村田 顕也	(教育研究開発センター長)
	園村 哲郎	(放射線医学 教授)
	岩倉 浩	(内科学(1) 講師)
	久保 隆史	(内科学(4) 准教授)
	柑本 康夫	(泌尿器科学 准教授)
	尾浦 正二	(外科学(1) 准教授)
	水本 一弘	(医療安全推進部 准教授)
	羽野 卓三	(学長特命教員(特別顧問))
	田中 才一	(眼科学 講師)
◎CBT実施委員		
	山田 源	(遺伝子制御学研究部 教授) (CBT実施責任者)
	森 めぐみ	(教育研究開発センター 助教) (OSCE実施委員)
	村田 顕也	(教育研究開発センター長)
	竹下 達也	(公衆衛生学 教授)
	西尾 真智子	(微生物学 教授)
	山本 景一	(医療情報部 准教授)
	田中 篤	(内科学(4) 准教授)
	中西 正典	(内科学(3) 准教授)
	中 聡	(神経精神医学 教授)
	西 理宏	(病態栄養治療部 准教授)
	南 佐和子	(総合周産期母子医療センター 准教授)

【FD部会】

部会長	柳川敏彦	(保健看護学部長)
副部会長	村田敏也	(教育研究開発センター長)
	山田源	(学生部長)
	廣田麻子	(教養・医学教育大講座 教授)
	井原義人	(生化学 教授)
	藤森隆夫	(1)ウマチ・膠原病科学 教授)
		(教育研究開発センター 助教)

【入試制度検討部会】

部会長	柳川敏彦	(保健看護学部長)
副部会長	近藤敏和	(法医学 教授) (医学部委員会委員長)
	村田秀也	(教育研究開発センター長)
	平井秀一	(教養・医学教育大講座 教授)
	金桶吉起	(生理学 (1) 教授)
	村垣泰光	(病理学 教授)
	竹下達也	(公衆衛生学 教授)
	北野雅之	(内科学 (2) 教授)
	山本信之	(内科学 (3) 教授)
	森めぐみ	(教育研究開発センター 助教)

【教育評価部会】

部会長	村田敏也	(教育研究開発センター長)	(医学部委員会委員長)
副部会長	柳川敏彦	(保健看護学部長)	
	羽野卓三	(学長特命教員 (特別顧問))	
	平井秀一	(教養・医学教育大講座 教授)	
	茂里康人	(教養・医学教育大講座 教授)	
	井原義人	(生化学 教授)	
	改正本康	(生体調節機構研究部 教授)	
	山本信之	(内科学 (3) 教授)	
	伊東秀文	(神経内科学 教授)	
	森めぐみ	(教育研究開発センター 助教)	
	藤本眞一	(奈良県立医科大学教育開発センター 教授)	

学生委員 1 名 ※学生自治会代議員会において毎年度選出する。
 (医学部4年生)

【自己評価委員会】

委員長	村垣泰光	(医学部長)
	柳川敏彦	(保健看護学部長)
	太平田茂	(薬学部長)
	山井秀一	(入試・教育センター長)
	山田裕機	(病院長)
	森めぐみ	(学生部長)
	藤本眞一	(教育研究開発センター 助教)
	大江嘉幸	(奈良県立医科大学教育開発センター教授)
		(前和歌山市教育委員会教育長)

【運営委員会】

委員長
 教育研究開発センター長
 教育研究開発センター 副センター長
 医学部長
 保健看護学部長
 薬学部長
 学生部長
 入試・教育センター長
 事務局長

教育研究審議会委員

(任期：平成30年4月1日～令和3年3月31日)

規程第2条		委員	備考
1号	学長	宮下 和久	
2号	副理事長	幸前 裕之	
3号	理事長指名理事	稲葉 信	事務局長
5号	学部長	村垣 泰光	医学部長
		柳川 敏彦	保健看護学部長
6号	「教育研究上の重要な組織の長」から理事長が任命	山上 裕機	附属病院長
		雑賀 司珠也	産官学連携推進本部長
		山田 源	学生部長
		平井 秀一	入試・教育センター長
		森岡 郁晴	図書館長
		上野 雅巳	地域・国際貢献推進本部長
7号	理事長が任命する「職員」	森川 吉博	解剖学第2講座教授
		岩村 龍子	保健看護学部教授
		鈴木 啓之	小児科学講座教授
8号	外部委員	足立 基浩	学外委員（和歌山大学教授）

平成30年度 第1回和歌山県公立大学法人評価委員会 出席者名簿

1 和歌山県公立大学法人評価委員会委員（五十音順）

○ 委員長

国際医療福祉大学大学院・医学部教授 東京大学大学院医学系研究科分子神経学特任教授	○辻 省次
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 医療経済学分野教授	川 ぶち こう いち 川 渚 孝 一
東京医療保健大学副学長 公益社団法人日本看護協会前会長	さか もと す が 坂 本 す が
静岡県立こども病院名誉院長・参与 市立岸和田市民病院顧問	せ と し ろう 瀬 戸 嗣 郎
公益財団法人白浜医療福祉財団 白浜はまゆう病院院長	たに ぐち ゆう し 谷 口 友 志
名古屋市立大学名誉教授 名古屋市立大学元学長	にし の ひと お 西 野 仁 雄

2 公立大学法人和歌山県立医科大学

理事長（学長）	宮 下 和 久
副理事長（財務担当理事）	幸 前 裕 之
医学部長（教育・研究担当理事）	村 垣 泰 光
病院長（医療担当理事）	山 上 裕 機
事務局長（総務担当理事）	出 口 博 之
保健看護学部長	柳 川 敏 彦
附属病院副院長兼紀北分院長	川 上 守
学生部長	山 田 源
教育研究開発センター長	村 田 顕 也
地域医療支援センター長	上 野 雅 巳
薬学部開設準備室参事	太 田 茂
附属病院副院長兼看護部長	角 谷 知 恵 美
助産学専攻科学長特命教授	岡 本 恭 子
危機対策室長	瀧 川 泰 弘
事務局次長	新 谷 幹 雄
事務局次長（病院担当）	松 尾 孝 志
事務局次長兼紀北分院事務室長	佐々木 美 夫
地域医療支援センター事務長	正 木 和 弥
総務課長	久 保 宜 昭
経営企画課長	岡 畑 拓 男
研究推進課長	谷 口 恵 美
学生課長	塩 崎 卓 司
施設管理課長	橋 口 佳 幸
医事課長	鳴 神 賢 生
経理課長	大 平 志 生
薬学部開設準備室長	中 家 秀 起
保健看護学部事務室長	那須井 信 夫
紀北分院事務室副室長	川 口 昌 彦
図書館事務長	南 方 政 英

3 和歌山県

福祉保健部長	山 本 等 士
福祉保健部技監	野 尻 孝 子
医務課長	今 西 宏 行
公立大学法人室長	貴 志 幸 生
公立大学法人室総括課長補佐	末 松 新 一
公立大学法人室主任	古味山 正 典

社会医学系検討ワーキング

■日時 平成30年8月23日(木) 18時～

■場所 基礎教育棟1階 非常勤講師控室

■ワーキングメンバー

所属・職名	氏名
教養・医学教育大講座 教授	平井 秀一
地域医療支援センター長	上野 雅巳
教育研究開発センター長	村田 顕也
紀北分院内科教授	廣西 昌也
地域医療支援センター 講師	北野 尚美

議題

1. 医学部教育における地域医療に関わるカリキュラムについて

*平成30年6月26日(火)カリキュラム部会 資料参照

2. その他

項目	1年											2年				3年		4年										6年			
	医学概論 I	倫理学	統計	医学統計	医学概論 II	医学入門	ケアマインド	法学	医療経済	医療社会科学 I	医療社会科学 I	医療行動科学	地域医療	医療社会科学 II	医療社会科学 II	特別講義	法医学	衛生学	感染制御	公衆衛生学	地域医療 B2	特講 佐々木	加齢と老化	在宅医療	東洋医学	医療安全	医療情報学	特別講義	臨床実習		
A 医師として求められる基本的な資質・能力																															
A-1 プロフェッショナリズム																															
A-1-1) 医の倫理と生命倫理																															
①		2											3		1	1	1					1	1								
②		2			1							1		1		1						1	1						1		
③					1							1				1						1	1								
A-1-2) 患者中心の視点																															
①		1			1										1						1	1	1								
②		4			1					1	1		1		1						1		1					1			
③		4			1						1		2		1						1	2	1					1			
④		3								1	1		1										1					1			
A-1-3) 医師としての責務と裁量権																															
①																															
②		6									1		4									1	1		1						
③		6			1						1		5			1						2	1								
④		3											3									1	1								
⑤					1								1									1	1					1			
A-2 医学知識と問題対応能力																															
A-2-1) 課題探求・解決能力																															
①	13		1	1		1	8						3			2						3	1								
②			1	1		1	8						3			1						3	1								
③	13		1	1		1	8						2			2						2	1								
④	13					1	8						1			1						1	1								
⑤						1							1			1						1	1								
A-2-2) 学修の在り方																															
①			1	1		1							1			1						1	1								
②			1	1									1			1						1	1								
③			1	1									1			1						1	1								
④																1															
⑤																1															
A-3 診療技能と患者ケア																															
A-3-1) 全人的実践的能力																															
①																															
②																															
③																															
④																															
⑤																															
⑥																															
⑦																															
⑧													1									1									
A-4 コミュニケーション能力																															
A-4-1) コミュニケーション																															
①						1					2		1									1	1					1			
②						1					2		2									1	1					1			
③							1				2	1	1										1					1			
A-4-2) 患者と医師の関係																															
①													2									1	1		1						
②													1									1	1								
③													3									2	1		1						
④		5											2									1	1								
⑤																															
⑥													1									1	1								
⑦													1									1	1								
A-5 チーム医療の実践																															
A-5-1) 患者中心のチーム医療																															
①		1			4	1	1						4									1	1		1						
②		1			4	1	1						3									1	1								
③					4	1	1						3										1	1							
④					1	3	1						3									1	1								

1年生(Ⅰ・Ⅱ期)カリキュラム

※火曜日時間割 1限:9:00～10:10、2限:10:20～11:30、3限:11:40～12:50、4限:13:30～15:00(90分)、5限:15:10～16:20

※講義は主として医学部三葛教育棟1階の講義室1で行われるが、詳細は掲示によって通知する。

※情報処理、物理学実習Ⅰ、化学実習Ⅰ、生物学実習Ⅰは、Ⅰ期の前半・後半をA・Bのグループに分かれて受講する。医学統計学、心理学実習は、A・Bのグループに分かれて隔週ごとに受講する。(詳細は別途掲示する。)

※内容は変更になることがある。

No	月曜日					火曜日					水曜日					木曜日					金曜日										
	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	
	4/2	新入生ガイダンス					4/3	新入生ガイダンス					4/4	入学式					4/5	新入生ガイダンス											
1	4/9						4/10						4/11						英語Ⅰa						医療経済学	情報処理/化学実習Ⅰ	4/12	英語Ⅰb	化学B	情報処理/生物学実習Ⅰ	4/13
2	4/16	生物学A	倫理学	医療社会科学Ⅰ	教養セミナーⅠ	保健体育Ⅰ	4/17	物理学A	フランス語/ドイツ語/中国語	医学入門	教養セミナーⅠ	4/18	英語Ⅰa	医療経済学	情報処理/化学実習Ⅰ	4/19	英語Ⅰb	化学B	情報処理/生物学実習Ⅰ	4/20	新入生研修										
3	4/23	生物学A	倫理学	医療社会科学Ⅰ	教養セミナーⅠ	保健体育Ⅰ	4/24	物理学A	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マインド	教養セミナーⅠ	4/25	英語Ⅰa	医療経済学	情報処理/化学実習Ⅰ	4/26	英語Ⅰb	化学B	情報処理/生物学実習Ⅰ	4/27	基礎理科(物/化/生)	心理学Ⅰ	数学	数理科学							
4	4/30	振替休日					5/1	TOEFL-ITP試験					5/2	講義予備日					5/3	憲法記念日					5/4	みどりの日					
5	5/7	生物学A	倫理学	医療社会科学Ⅰ	教養セミナーⅠ	保健体育Ⅰ	5/8	物理学A	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マインド	教養セミナーⅠ	5/9	英語Ⅰa	医療経済学	情報処理/化学実習Ⅰ	5/10	英語Ⅰb	化学B	情報処理/生物学実習Ⅰ	5/11	基礎理科(物/化/生)	心理学Ⅰ	数学	数理科学							
6	5/14	生物学A	倫理学	医療社会科学Ⅰ	教養セミナーⅠ	保健体育Ⅰ	5/15	物理学A	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マインド	教養セミナーⅠ	5/16	英語Ⅰa	医療経済学	情報処理/化学実習Ⅰ	5/17	英語Ⅰb	化学B	情報処理/生物学実習Ⅰ	5/18	基礎理科(物/化/生)	心理学Ⅰ	数学	数理科学							
7	5/21	生物学A	倫理学	医療社会科学Ⅰ	教養セミナーⅠ	保健体育Ⅰ	5/22	物理学A	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マインド	教養セミナーⅠ	5/23	英語Ⅰa	医療経済学	情報処理/化学実習Ⅰ	5/24	英語Ⅰb	化学B	情報処理/生物学実習Ⅰ	5/25	基礎理科(物/化/生)	心理学Ⅰ	数学	数理科学							
8	5/28	生物学A	倫理学	医療社会科学Ⅰ	教養セミナーⅠ	保健体育Ⅰ	5/29	物理学A	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マインド	教養セミナーⅠ	5/30	英語Ⅰa	医療経済学	情報処理/化学実習Ⅰ	5/31	英語Ⅰb	化学B	情報処理/生物学実習Ⅰ	6/1	基礎理科(物/化/生)	心理学Ⅰ	数学	数理科学							
9	6/4	生物学A	倫理学	医療社会科学Ⅰ	教養セミナーⅠ	保健体育Ⅰ	6/5	物理学A	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マインド	教養セミナーⅠ	6/6	英語Ⅰa	医療経済学	物理学実習Ⅰ/化学実習Ⅰ	6/7	英語Ⅰb	化学B	物理学実習Ⅰ/生物学実習Ⅰ	6/8	基礎理科(物/化/生)	心理学Ⅰ	数学	数理科学							
10	6/11	人権講義①	倫理学	医療社会科学Ⅰ	教養セミナーⅠ	保健体育Ⅰ	6/12	物理学A	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マインド	教養セミナーⅠ	6/13	英語Ⅰa	医療経済学	物理学実習Ⅰ/化学実習Ⅰ	6/14	英語Ⅰb	化学B	物理学実習Ⅰ/生物学実習Ⅰ	6/15	医学概論Ⅰ	医学概論Ⅰ	心理学Ⅰ	数学	数理科学						
11	6/18	生物学A	倫理学	医療社会科学Ⅰ	教養セミナーⅠ	保健体育Ⅰ	6/19	物理学A	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マインド	教養セミナーⅠ	6/20	英語Ⅰa	医療経済学	物理学実習Ⅰ/化学実習Ⅰ	6/21	英語Ⅰb	化学B	物理学実習Ⅰ/生物学実習Ⅰ	6/22	人権講義②	医学概論Ⅰ	心理学Ⅰ	数学	数理科学						
12	6/25	生物学A	倫理学	医療社会科学Ⅰ	教養セミナーⅠ	保健体育Ⅰ	6/26	物理学A	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マインド	教養セミナーⅠ	6/27	英語Ⅰa	医療経済学	物理学実習Ⅰ/化学実習Ⅰ	6/28	英語Ⅰb	化学B	物理学実習Ⅰ/生物学実習Ⅰ	6/29	医学概論Ⅰ	医学概論Ⅰ	心理学Ⅰ	数学	数理科学						
13	7/2	生物学A	倫理学	医療社会科学Ⅰ	教養セミナーⅠ	保健体育Ⅰ	7/3	物理学A	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マインド	教養セミナーⅠ	7/4	英語Ⅰa	医療経済学	物理学実習Ⅰ/化学実習Ⅰ	7/5	英語Ⅰb	化学B	物理学実習Ⅰ/生物学実習Ⅰ	7/6	医学概論Ⅰ	医学概論Ⅰ	心理学Ⅰ	数学	数理科学						
14	7/9	生物学A	倫理学	医療社会科学Ⅰ	教養セミナーⅠ	保健体育Ⅰ	7/10	物理学A	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マインド	教養セミナーⅠ	7/11	英語Ⅰa	医療経済学	物理学実習Ⅰ/化学実習Ⅰ	7/12	英語Ⅰb	化学B	物理学実習Ⅰ/生物学実習Ⅰ	7/13	医学概論Ⅰ	医学概論Ⅰ	心理学Ⅰ	数学	数理科学						
休	7/16	海の日					7/17	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					7/18	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					7/19	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					7/20	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					
	7/23	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					7/24	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					7/25	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					7/26	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					7/27	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					
	7/30	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					7/31	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					8/1	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					8/2	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					8/3	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					
	8/6	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					8/7	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					8/8	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					8/9	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					8/10	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					
	8/13	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					8/14	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					8/15	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					8/16	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					8/17	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					
	8/20	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					8/21	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					8/22	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					8/23	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					8/24	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					
15	8/27	生物学A	倫理学	医療社会科学Ⅰ	教養セミナーⅠ	保健体育Ⅰ	8/28	物理学A	フランス語/ドイツ語/中国語	医学入門	教養セミナーⅠ	8/29	英語Ⅰa	医療経済学	物理学実習Ⅰ/化学実習Ⅰ	8/30	英語Ⅰb	化学B	物理学実習Ⅰ/生物学実習Ⅰ	8/31	医学概論Ⅰ	医学概論Ⅰ	心理学Ⅰ	数学	数理科学						
16	9/3	生物学A	倫理学	医療社会科学Ⅰ	教養セミナーⅠ	保健体育Ⅰ	9/4	物理学A	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マインド	教養セミナーⅠ	9/5	早期体験実習報告会					9/6	早期体験実習報告会	物理学実習Ⅰ/生物学実習Ⅰ	9/7	医学概論Ⅰ	医学概論Ⅰ	心理学Ⅰ	数学	数理科学					
17	9/10	Ⅰ期試験					9/11	Ⅰ期試験					9/12	Ⅰ期試験					9/13	Ⅰ期試験					9/14	Ⅰ期試験					
18	9/17	敬老の日					9/18	Ⅰ期試験					9/19	Ⅰ期試験					9/20	Ⅰ期試験					9/21	Ⅰ期試験	医学統計学/心理学実習				

1年生(Ⅰ・Ⅱ期)カリキュラム

※火曜日時間割 1限:9:00～10:10、2限:10:20～11:30、3限:11:40～12:50、4限:13:30～15:00(90分)、5限:15:10～16:20

※講義は主として医学部三葛教育棟1階の講義室1で行われるが、詳細は掲示によって通知する。

※情報処理、物理学実習Ⅰ、化学実習Ⅰ、生物学実習Ⅰは、Ⅰ期の前半・後半をA・Bのグループに分かれて受講する。医学統計学、心理学実習は、A・Bのグループに分かれて隔週ごとに受講する。(詳細は別途掲示する。)

※内容は変更になることがある。

No	月曜日					火曜日					水曜日					木曜日					金曜日									
	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限
19	9/24	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保健体育Ⅱ	9/25	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語	医学入門	Ⅰ期再試験	9/26	化学A	英語Ⅱa	物理実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ	9/27	英語Ⅱb	生物学B	社会科学系科目(未定)	医学概論Ⅱ	英語Ⅱc	9/28	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習					
20	10/1	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保健体育Ⅱ	10/2	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マインド	Ⅰ期再試験	10/3	化学A	英語Ⅱa	物理実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ	10/4	英語Ⅱb	生物学B	社会科学系科目(未定)	医学概論Ⅱ	英語Ⅱc	10/5	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習					
21	10/8	体育の日					10/9	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マインド	Ⅰ期再試験	10/10	化学A	英語Ⅱa	物理実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ	10/11	英語Ⅱb	生物学B	社会科学系科目(未定)	医学概論Ⅱ	英語Ⅱc	10/12	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習					
22	10/15	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保健体育Ⅱ	10/16	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マインド	Ⅰ期再試験	10/17	化学A	英語Ⅱa	物理実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ	10/18	英語Ⅱb	生物学B	社会科学系科目(未定)	医学概論Ⅱ	英語Ⅱc	10/19	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習					
23	10/22	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保健体育Ⅱ	10/23	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マインド	Ⅰ期再試験	10/24	化学A	英語Ⅱa	物理実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ	10/25	英語Ⅱb	生物学B	社会科学系科目(未定)	医学概論Ⅱ	英語Ⅱc	10/26	大学祭							
24	10/29	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保健体育Ⅱ	10/30	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マインド	Ⅰ期再試験	10/31	化学A	英語Ⅱa	物理実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ	11/1	英語Ⅱb	生物学B	社会科学系科目(未定)	医学概論Ⅱ	英語Ⅱc	11/2	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習					
25	11/5	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保健体育Ⅱ	11/6	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マインド	Ⅰ期再試験	11/7	化学A	英語Ⅱa	物理実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ	11/8	英語Ⅱb	生物学B	社会科学系科目(未定)	医学概論Ⅱ	英語Ⅱc	11/9	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習					
26	11/12	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保健体育Ⅱ	11/13	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マインド	Ⅰ期再試験	11/14	化学A	英語Ⅱa	物理実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ	11/15	英語Ⅱb	生物学B	社会科学系科目(未定)	医学概論Ⅱ	英語Ⅱc	11/16	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習					
27	11/19	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保健体育Ⅱ	11/20	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マインド	Ⅰ期再試験	11/21	化学A	英語Ⅱa	物理実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ	11/22	英語Ⅱb	生物学B	社会科学系科目(未定)	医学概論Ⅱ	英語Ⅱc	11/23	勤労感謝の日							
28	11/26	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保健体育Ⅱ	11/27	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マインド	Ⅰ期再試験	11/28	化学A	英語Ⅱa	物理実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ	11/29	英語Ⅱb	生物学B	社会科学系科目(未定)	医学概論Ⅱ	英語Ⅱc	11/30	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習					
29	12/3	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保健体育Ⅱ	12/4	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マインド	Ⅰ期再試験	12/5	化学A	英語Ⅱa	物理実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ	12/6	英語Ⅱb	生物学B	社会科学系科目(未定)	医学概論Ⅱ	英語Ⅱc	12/7	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習					
30	12/10	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保健体育Ⅱ	12/11	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マインド	Ⅰ期再試験	12/12	化学A	英語Ⅱa	物理実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ	12/13	英語Ⅱb	生物学B	社会科学系科目(未定)	医学概論Ⅱ	英語Ⅱc	12/14	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習					
31	12/17	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保健体育Ⅱ	12/18	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語	生体分子の構造と機能Ⅰ	生体分子の構造と機能Ⅰ	12/19	化学A	英語Ⅱa	物理実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ	12/20	英語Ⅱb	生物学B	社会科学系科目(未定)	医学概論Ⅱ	英語Ⅱc	12/21	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習					
休	12/24	冬期休業日					12/25	冬期休業日					12/26	冬期休業日					12/27	冬期休業日					12/28	冬期休業日				
	12/31	冬期休業日					1/1	冬期休業日					1/2	冬期休業日					1/3	冬期休業日					1/4	冬期休業日				
32	1/7	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保健体育Ⅱ	1/8	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語	生体分子の構造と機能Ⅰ	生体分子の構造と機能Ⅰ	1/9	化学A	英語Ⅱa	物理実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ	1/10	英語Ⅱb	生物学B	社会科学系科目(未定)	医学概論Ⅱ	英語Ⅱc	1/11	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習					
33	1/14	成人の日					1/15	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語	生体分子の構造と機能Ⅰ	生体分子の構造と機能Ⅰ	1/16	化学A	英語Ⅱa	物理実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ	1/17	医学入門(エスコート実習)			医学入門(実習事前講習)			1/18	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習				
34	1/21	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	統計学	保健体育Ⅱ	1/22	Ⅱ期試験					1/23	Ⅱ期試験					1/24	Ⅱ期試験					1/25	Ⅱ期試験				
35	1/28	Ⅱ期試験					1/29	Ⅱ期試験					1/30	Ⅱ期試験					1/31	Ⅱ期試験					2/1	Ⅱ期試験				
36	2/4						2/5					2/6										2/7								
37	2/11	Ⅱ期再試験					2/12	Ⅱ期再試験					2/13	Ⅱ期再試験					2/14	Ⅱ期再試験					2/15	Ⅱ期再試験				
38	2/18	Ⅱ期再試験					2/19	Ⅱ期再試験					2/20	開学記念日					2/21	Ⅱ期再試験					2/22	Ⅱ期再試験				
(1)	2/25	地域福祉施設体験実習					2/26	地域福祉施設体験実習					2/27	地域福祉施設体験実習					2/28	地域福祉施設体験実習					3/1	地域福祉施設体験実習				
(2)	3/4	医学入門(実習報告会)					3/5	学年末休業日					3/6	学年末休業日					3/7	学年末休業日					3/8	学年末休業日				
(3)	3/11	学年末休業日					3/12	学年末休業日					3/13	学年末休業日					3/14	学年末休業日					3/15	卒業式				
(4)	3/18	春期休業日					3/19	春期休業日					3/20	春期休業日					3/21	春分の日					3/22	春期休業日				

3年生(V期・VI期)カリキュラム

※講義は主として基礎教育棟3階 講義室2で行われますが、詳細は掲示または講義内で通知します。

No	月曜日					火曜日					水曜日					木曜日					金曜日									
	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限
1	2/19	生体と微生物	生体と微生物	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	2/20	開学記念日					2/21	生体と薬物	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	免疫と生体防御	2/22	病因と病態	病因と病態	免疫と生体防御	基礎配属	基礎配属	2/23	前期入試準備				
2	2/26	前期入試					2/27	人の死(法医学)	人の死(法医学)	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	2/28	生体と薬物	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	免疫と生体防御	3/1	病因と病態	病因と病態	免疫と生体防御	基礎配属	基礎配属	3/2	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
3	3/5	生体と微生物	生体と微生物	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	3/6	人の死(法医学)	人の死(法医学)	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	3/7	生体と薬物	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	免疫と生体防御	3/8	病因と病態	病因と病態	免疫と生体防御	基礎配属	基礎配属	3/9	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
4	3/12	生体と微生物	生体と微生物	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	3/13	人の死(法医学)	人の死(法医学)	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	3/14	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	基礎配属	基礎配属	3/15	病因と病態	病因と病態	免疫と生体防御	基礎配属	基礎配属	3/16	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
休	3/19	学年末休業日					3/20	学年末休業日					3/21	春分の日					3/22	学年末休業日					3/23	学年末休業日				
	3/26	学年末休業日					3/27	学年末休業日					3/28	学年末休業日					3/29	学年末休業日					3/30	学年末休業日				
	4/2	春期休業日					4/3	春期休業日					4/4	春期休業日					4/5	入学式					4/6	春期休業日				
5	4/9	生体と微生物	生体と微生物	病因と病態	医学英語	医学英語	4/10	人の死(法医学)	人の死(法医学)	生体と微生物	健康診断	4/11	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	基礎配属	基礎配属	4/12	病因と病態	病因と病態	免疫と生体防御	基礎配属	基礎配属	4/13	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	
6	4/16	生体と微生物	生体と微生物	病因と病態	医学英語	医学英語	4/17	人の死(法医学)	人の死(法医学)	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	4/18	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	基礎配属	基礎配属	4/19	病因と病態	病因と病態	免疫と生体防御	基礎配属	基礎配属	4/20	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
7	4/23	生体と微生物	生体と微生物	病因と病態	医学英語	医学英語	4/24	人の死(法医学)	人の死(法医学)	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	4/25	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	基礎配属	基礎配属	4/26	病因と病態	病因と病態	免疫と生体防御	基礎配属	基礎配属	4/27	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
8	4/30	振替休日					5/1	講義予備日					5/2	講義予備日					5/3	憲法記念日					5/4	みどりの日				
9	5/7	生体と微生物	生体と微生物	病因と病態	医学英語	医学英語	5/8	人の死(法医学)	人の死(法医学)	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	5/9	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	基礎配属	基礎配属	5/10	病因と病態	病因と病態	免疫と生体防御	基礎配属	基礎配属	5/11	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
10	5/14	生体と微生物	生体と微生物	病因と病態	医学英語	医学英語	5/15	人の死(法医学)	人の死(法医学)	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	5/16	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	基礎配属	基礎配属	5/17	病因と病態	病因と病態	免疫と生体防御	基礎配属	基礎配属	5/18	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
11	5/21	生体と微生物	生体と微生物	病因と病態	医学英語	医学英語	5/22	人の死(法医学)	人の死(法医学)	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	5/23	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	基礎配属	基礎配属	5/24	病因と病態	病因と病態	免疫と生体防御	基礎配属	基礎配属	5/25	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
12	5/28	生体と微生物	生体と微生物	病因と病態	基礎配属	基礎配属	5/29	人の死(法医学)	人の死(法医学)	人の死(法医学)	基礎配属	基礎配属	5/30	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	基礎配属	基礎配属	5/31	病因と病態	病因と病態	病因と病態	基礎配属	基礎配属	6/1	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
13	6/4	生体と微生物	生体と微生物	病因と病態	基礎配属	基礎配属	6/5	人の死(法医学)	人の死(法医学)	人の死(法医学)	基礎配属	基礎配属	6/6	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	基礎配属	基礎配属	6/7	病因と病態	病因と病態	病因と病態	基礎配属	基礎配属	6/8	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
14	6/11	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	6/12	講義予備日					6/13	講義予備	講義予備	講義予備	基礎配属	基礎配属	6/14	病因と病態	病因と病態	病因と病態	基礎配属	基礎配属	6/15	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
15	6/18	試験					6/19	試験					6/20	試験					6/21	試験					6/22	試験				
16	6/25	試験					6/26	試験					6/27	試験					6/28	試験					6/29	試験				
17	7/2	生体と微生物	生体と微生物	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	7/3	病棟実習			基礎配属	基礎配属	7/4	病棟実習			基礎配属	基礎配属	7/5	病因と病態	病因と病態	病因と病態	基礎配属	基礎配属	7/6	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
18	7/9	生体と微生物	生体と微生物	特別講義(地域医療)	特別講義(交換講義)	特別講義(交換講義)	7/10	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	7/11	生体と薬物	生体と薬物	生態と病害動物	基礎配属	基礎配属	7/12	病因と病態	病因と病態	病因と病態	基礎配属	基礎配属	7/13	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
休	7/16	海の日					7/17	夏期休業日					7/18	夏期休業日					7/19	夏期休業日					7/20	夏期休業日				
	7/23	夏期休業日					7/24	夏期休業日					7/25	夏期休業日					7/26	夏期休業日					7/27	夏期休業日				
	7/30	夏期休業日					7/31	夏期休業日					8/1	夏期休業日					8/2	夏期休業日					8/3	夏期休業日				
	8/6	夏期休業日					8/7	夏期休業日					8/8	夏期休業日					8/9	夏期休業日					8/10	夏期休業日				
	8/13	夏期休業日					8/14	夏期休業日					8/15	夏期休業日					8/16	夏期休業日					8/17	夏期休業日				
	8/20	夏期休業日					8/21	夏期休業日					8/22	夏期休業日					8/23	夏期休業日					8/24	夏期休業日				
19	8/27	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	8/28	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	8/29	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	8/30	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	8/31	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
20	9/3	生体と微生物	生体と微生物	特別講義(人権講義)	基礎配属	基礎配属	9/4	人の死(法医学)	人の死(法医学)	生体と微生物	特別講義(人権講義)	講義予備	9/5	生体と薬物	生体と薬物	生態と病害動物	基礎配属	基礎配属	9/6	病因と病態	病因と病態	病因と病態	遺伝子と遺伝子異常	遺伝子と遺伝子異常	9/7	生体と薬物	生体と薬物	生体と薬物	基礎配属	基礎配属
21	9/10	生体と微生物	生体と微生物	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	9/11	人の死(法医学)	人の死(法医学)	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	9/12	生体と薬物	生体と薬物	生態と病害動物	基礎配属	基礎配属	9/13	病因と病態	病因と病態	病因と病態	遺伝子と遺伝子異常	遺伝子と遺伝子異常	9/14	生体と薬物	生体と薬物	生体と薬物	基礎配属	基礎配属

3年生(V期・VI期)カリキュラム

※講義は主として基礎教育棟3階 講義室2で行われますが、詳細は掲示または講義内で通知します。

No	月曜日					火曜日					水曜日					木曜日					金曜日									
	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限
22	9/17	敬老の日					9/18	人の死(法医学)	人の死(法医学)	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	9/19	生体と薬物	生体と薬物	生態と病害動物	基礎配属	基礎配属	9/20	病因と病態	病因と病態	病因と病態	遺伝子と遺伝子異常	遺伝子と遺伝子異常	9/21	生体と薬物	生体と薬物	生体と薬物	基礎配属	基礎配属
23	9/24	振替休日					9/25	人の死(法医学)	人の死(法医学)	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	9/26	生体と薬物	生体と薬物	生態と病害動物	基礎配属	基礎配属	9/27	病因と病態	病因と病態	病因と病態	遺伝子と遺伝子異常	遺伝子と遺伝子異常	9/28	生体と薬物	生体と薬物	生体と薬物	基礎配属	基礎配属
24	10/1	生体と微生物	生体と微生物	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	10/2	人の死(法医学)	人の死(法医学)	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	10/3	生体と薬物	生体と薬物	生態と病害動物	基礎配属	基礎配属	10/4	病因と病態	病因と病態	病因と病態	遺伝子と遺伝子異常	遺伝子と遺伝子異常	10/5	生体と薬物	生体と薬物	生体と薬物	基礎配属	基礎配属
25	10/8	体育の日					10/9	人の死(法医学)	人の死(法医学)	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	10/10	生体と薬物	生体と薬物	生態と病害動物	基礎配属	基礎配属	10/11	病因と病態	病因と病態	病因と病態	遺伝子と遺伝子異常	遺伝子と遺伝子異常	10/12	生体と薬物	生体と薬物	生体と薬物	基礎配属	基礎配属
26	10/15	生体と微生物	生体と微生物	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	10/16	人の死(法医学)	人の死(法医学)	慰霊祭			10/17	生体と薬物	生態と病害動物	生態と病害動物	基礎配属	基礎配属	10/18	病因と病態	病因と病態	病因と病態	遺伝子と遺伝子異常	遺伝子と遺伝子異常	10/19	生体と薬物	生体と薬物	生体と薬物	基礎配属	基礎配属
27	10/22	生体と微生物	生体と微生物	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	10/23	人の死(法医学)	人の死(法医学)	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	10/24	生態と病害動物	生態と病害動物	生態と病害動物	基礎配属	基礎配属	10/25	病因と病態	病因と病態	病因と病態	遺伝子と遺伝子異常	遺伝子と遺伝子異常	10/26 大学祭(10/26～10/28)					
28	10/29	生体と微生物	生体と微生物	講義予備	基礎配属	基礎配属	10/30	人の死(法医学)	人の死(法医学)	講義予備	基礎配属	基礎配属	10/31	講義予備	講義予備	講義予備	基礎配属	基礎配属	11/1	講義予備	講義予備	講義予備	基礎配属	基礎配属	11/2	生体と薬物	講義予備	講義予備	基礎配属	基礎配属
29	11/5	薬理学実習					11/6	薬理学実習					11/7	薬理学実習					11/8	薬理学実習					11/9	薬理学実習				
30	11/12	薬理学実習					11/13	薬理学実習					11/14	薬理学実習					11/15	薬理学実習					11/16	薬理学実習				
31	11/19	講義予備日					11/20	講義予備日					11/21	講義予備日					11/22	微生物学実習					11/23	勤労感謝の日				
32	11/26	微生物学実習					11/27	微生物学実習					11/28	微生物学実習					11/29	微生物学実習					11/30	微生物学実習				
33	12/3	微生物学実習					12/4	微生物学実習					12/5	微生物学実習					12/6	微生物学実習					12/7	微生物学実習				
34	12/10	試験					12/11	試験					12/12	試験					12/13	試験					12/14	試験				
35	12/17	試験					12/18	試験					12/19	試験					12/20	試験					12/21	試験				
休	12/24	振替休日					12/25	冬期休業日					12/26	冬期休業日					12/27	冬期休業日					12/28	冬期休業日				
	12/31	冬期休業日					1/1	冬期休業日					1/2	冬期休業日					1/3	冬期休業日					1/4	冬期休業日				
36	1/7	再試験(基礎配属)					1/8	再試験(基礎配属)					1/9	再試験(基礎配属)					1/10	再試験(基礎配属)					1/11	再試験(基礎配属)				
37	1/14	成人の日					1/15	再試験(基礎配属)					1/16	再試験(基礎配属)					1/17	再試験(基礎配属)					1/18	基礎配属報告会				
38	1/21	臨床医学講義(※)					1/22	臨床医学講義(※)					1/23	臨床医学講義(※)					1/24	臨床医学講義(※)					1/25	臨床医学講義(※)				
39	1/28						1/29						1/30						1/31						2/1					
40	2/4						2/5						2/6						2/7						2/8					
41	2/11						2/12						2/13						2/14						2/15					
42	2/18						2/19						2/20						2/21						2/22					
43	2/25						2/26						2/27						2/28						3/1					
44	3/4						3/5						3/6						3/7						3/8					
45	3/11						3/12						3/13						3/14						3/15					
休	3/18	学年末休業日					3/19	学年末休業日					3/20	学年末休業日					3/21	春分の日					3/22	学年末休業日				
	3/25	学年末休業日					3/26	学年末休業日					3/27	学年末休業日					3/28	学年末休業日					3/29	学年末休業日				

※1/21からの臨床医学講義については未定の部分がありますので、決まり次第追ってお知らせします。

5年生(Ⅸ・Ⅹ期)カリキュラム

曜	1	2	3	4	5
	8:50～10:00	10:10～11:20	11:30～12:40	13:40～14:50	15:00～16:10
月	臨床実習				
火	臨床実習				
水	臨床実習				
木	臨床実習				
金	臨床実習				

2月5日(月)～2月9日(金) 1W オリエンテーション
 2月13日(火)～8月3日(金) 24W 臨床実習
 9月10日(月)～12月28日(金) 16W 臨床実習
 1月15日(火)～2月8日(金) 4W 臨床実習

6年生(Ⅺ・Ⅻ期)カリキュラム

曜	1	2	3	4	5
	8:50～10:00	10:10～11:20	11:30～12:40	13:40～14:50	15:00～16:10
月	臨床実習				
火	臨床実習				
水	臨床実習				
木	臨床実習				
金	臨床実習				

3月12日(月)～4月20日(金) 6W 選択制臨床実習
 5月14日(月)～7月13日(金) 9W 選択制臨床実習
 7月17日(火) 1限～2限 衛生学・公衆衛生学
 3限 Post-CC OSCE 説明会
 4限 知的財産権
 5限 薬害問題
 7月18日(水) Post-CC OSCE
 (Post Clinical Clerkship OSCE)
 9月～11月 卒業試験

開催概要

■ 日時等

日 時：平成 31 年 1 月 18 日（金） 8:45～16:50

場 所：講堂

対 象：3 年生（発表） 2 年生（聴講）

座長教室：病理学講座及び遺伝子制御学研究部

■ 発表

演 題 数：44 演題

発表時間：発表 5 分 質疑応答 2 分 入替 1 分

■ 採点

採 点 者：基礎配属の指導教員（各所属 1 名） 19 名

教育研究開発センター長

学生（発表グループ単位で採点）

■ 表彰

最優秀賞

「ラット上皮細胞における TGF- β 誘導性 EMT に対する Hsc70 の機能」

受賞学生：西岡直樹、西川太郎（配属 生化学講座）

指導教員：井原義人、池崎みどり

優秀賞

「ハザラウイルスの増殖と核酸蛋白の機能の解析」

受賞学生：野内隆志（配属 微生物学講座）

指導教員：西尾真智子、松本祐介

審査員特別賞

「尿路上皮癌発癌における HPV の関与を探る」

受賞学生：西平大輝、春本克太（配属 人体病理学講座）

指導教員：村田晋一、松崎生笛、小島史好、藤本正数、割栢健史、
岩橋吉史、高橋祐一

和 県 医 発 第 6 6 4 号

平 成 3 0 年 8 月 6 日

公立大学法人和歌山県立医科大学

理事長 宮 下 和久 殿

和歌山県医師会長

寺 下 浩



「平成30年度医学生をサポートするための会」開催について

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、日本医師会では、女性医師支援センター事業（厚生労働省委託事業）の一環として女性医師支援、特に女性医師のキャリア形成・継続の支援を目的に、医学生や研修医等を対象に、日本医師会との共催により標記講習会を実施いたしております。今日の我が国においては、社会・経済成長のための最大の潜在能力として、かつてないほど「女性の力」の活用が重視されており、医療の分野におきましても女性医師の参画を促進させるための環境整備が急務とされております。

とりわけ女性医師が生涯にわたりもっている能力を十分発揮できるための支援が重要であり、そのためには、職場や家庭における男性の理解と協力が不可欠であり、性別を問わず、医学生や研修医の時期から男女共同参画やワークライフバランスについて明確に理解しておくことが求められます。

つきましては、今年度も引き続き標記講習会を別添プログラムにより開催いたしますので、貴大学生の多数のご出席をいただきますよう、ご高配方よろしくお願ひ申し上げます。



平成30年度医学生をサポートするための会

日 時 平成30年10月12日(金) 13:40~14:50

場 所 和歌山県立医科大学 病院棟 4階 臨床講堂I

和歌山市紀三井寺811-1

TEL 073-447-2300

1. 開会挨拶

和歌山県医師会 理事 榎本 多津子

2. 講 義

講 演 「医学生のためのキャリア入門

～自分の未来をデザインしよう～

演 者 秋田大学 医学部総合地域医療推進学講座 准教授

蓮沼 直子

3. 閉 会

主催 和歌山県医師会 共催 日本医師会

大まかな設定がしてありますが、細かな設定は自分たちでしてもよいです。

①このカップルの問題点を挙げてください。

②問いかけに対しては複数の(3 つ以上)の選択肢を自分たちで挙げてください。

③討論してそのうちベストだと思うものとその理由を説明してください。グループで紙にまとめて提出してください。

シナリオ

夫は部活の先輩で、卒後和歌山で結婚しました。子供も生まれ実家がお互い遠いため、協力しながら子育てと仕事の両立を目指しています。

自分は外科系のある診療科にすすみ、後期研修も順調で、専門医を取得しました。さらに専門を深めるため、ある手術の技術を身に着け和歌山県立医科大学で活躍したいと思っていた。そのことを上司に相談したところ、海外のスペシャリストを紹介してくれて、1年くらい勉強しにいてもいいといってもらえました。

しかしまだ子供は3歳ですし、国外に長期間研修に行くことは想定していませんでしたが、若いうちに技術を身に着けたいとも思います。さて、どうしますか？

()グループ

本日の課題

妻の海外留学について

①このカップルの問題点

②選択肢を3つ以上挙げてください。

③そのうちベストと思うものとその理由を書いてください。

大学4年生特別講義

日 時：平成30年10月19日（金） 4～5限（13：40～16：10）

場 所：附属病院東棟3階地域医療支援センター

講 師：厚生労働省 医政局 医事課長 佐々木 健 先生

担当教員：地域医療支援センター センター長 上野 雅巳

テ ー マ：人生の最終段階における医療について

1. 終末期医療について
2. 終末期医療の普及啓発およびACPの名称について

1. 終末期医療について（スライドによる各班発表5分、討議5分×4）

パワーポイントでスライドを作成し、下記の内容について5分の発表準備をすること

1-A・1-B班 高齢者・その家族から見た終末期医療の課題

2-A・2-B班 医師から見た終末期医療の課題

3-A・3-B班 一般国民から見た終末期医療の課題

4-A・4-B班 障害者（難病患者を含む）・その家族から見た終末期医療の課題

2. 終末期医療の普及啓発およびACPの名称について（スライドによる各班発表5分×8）

パワーポイントでスライドを作成し、下記の内容について5分の発表準備をすること

1-A班

1-B班

2-A班

2-B班

3-A班

3-B班

4-A班

4-B班

終末期医療についての普及啓発アイデア+ACPの名称案

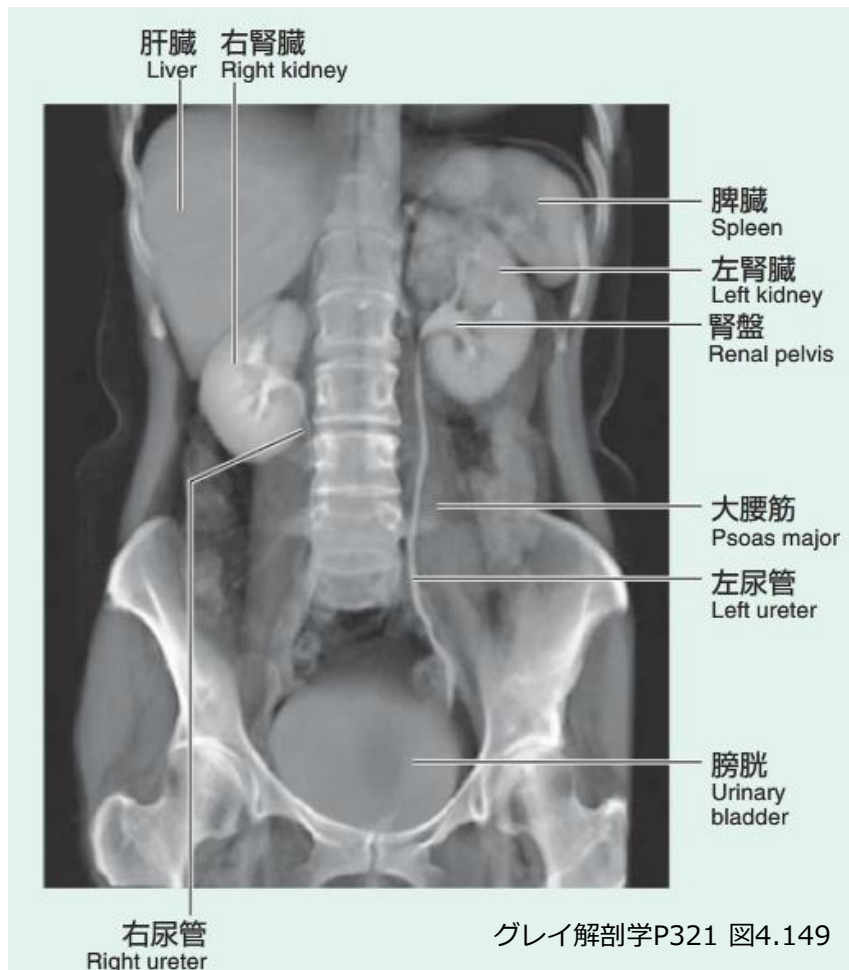
※ACPについては https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_00775.html 参照

1. 終末期医療について	
13：40～13：50	イントロダクション
13：50～14：30	各班発表×4
14：30～15：00	総合討論
休憩	
15：00～15：10	
2. 終末期医療の普及啓発およびACPの名称について	
15：10～15：50	各班発表×8
15：50～16：00	総合討論
16：00～16：10	まとめ

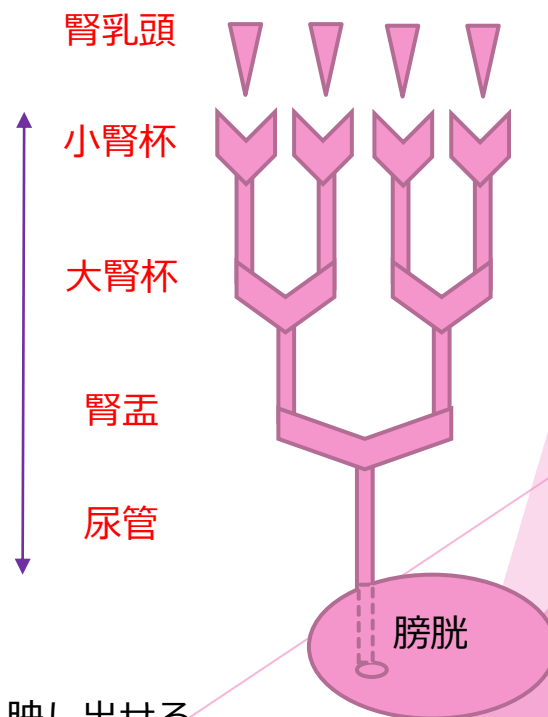
【平成30年度ケアマインド教育スケジュール】

	テーマ	講師	30年度 担当教員
4月17日	医学部：（未定）、保健看護学部：早期体験実習		
4月24日	オリエンテーション	—	村田先生
5月1日	医学部：TOEFL、保健看護学部：臨時休業日		
5月8日	脊髄損傷	梶本 佳史 様	村田先生
5月15日	WG	—	村田先生
5月22日	発表	—	村田先生
5月29日	医療人類学1		山口先生
6月5日	医療人類学2:和歌山の人々の暮らし	近畿大学教授 藤井弘章先生	山口先生
6月12日	チーム医療	—	水越先生
6月19日		予備日	
6月26日	小児医療	森ノ宮医療大学 伊藤直子 様	山口先生
7月3日	がん	岩崎順子 様	志波先生
7月10日	小児・がん WG	—	志波先生 山口先生
8月28日	医学部：（未定）、保健看護学部：夏期休暇		
9月4日		予備日	
9月11日	医学部：試験期間、保健看護学部：補講期間		
9月18日	医学部：試験期間、保健看護学部：試験期間		
9月25日	医学部：講義、保健看護学部：試験期間		
10月2日		予備日	
10月9日	視覚障がい	和歌浦病院 生駒芳久 様	志波先生
10月16日	医療人類学WG1	—	山口先生
10月23日	医療人類学WG2	—	山口先生
10月30日	医療人類学発表	—	山口先生
11月6日	ALS	林静哉 様	村田先生
11月13日	ダウン症	宮本鍼灸指圧院 宮本敏企 様	村田先生
11月20日	薬害（B型肝炎）	全国B型肝炎訴訟原告団・弁護団	村田先生
11月27日	ALS・B肝・ダウン症WG1	—	村田先生
12月4日	ALS・B肝・ダウン症WG2	—	村田先生
12月11日	ALS・B肝・ダウン症発表	—	村田先生

上部尿路



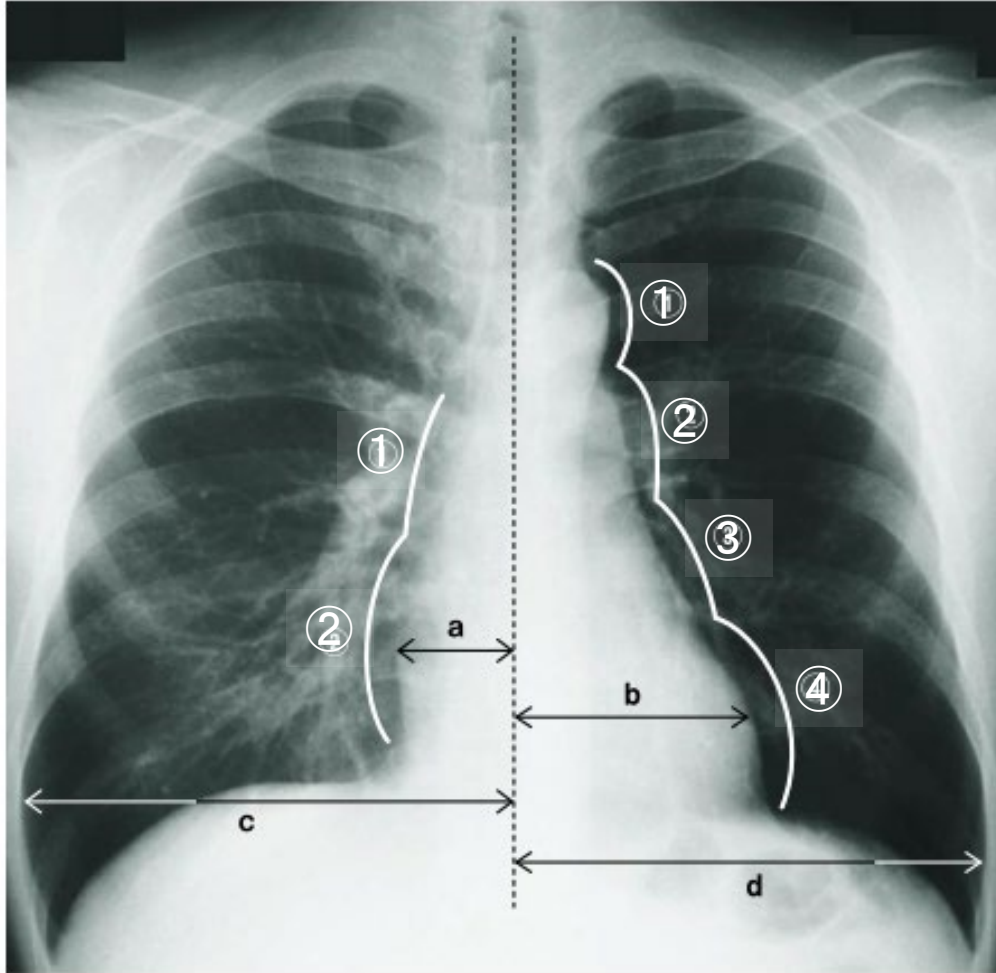
腎臓で産生した尿が膀胱まで
輸送される経路
(小腎杯から尿管まで)



経静脈尿路造影 (intravenous urography:IVU)
X線透過が悪いヨード系の造影剤により尿路が白く映し出せる

胸部X線写真

8 正面像 (背腹方向)



①右第1弓 上大動脈

②右第2弓 右心房

①左第1弓 大動脈弓

②左第2弓 肺動脈

③左第3弓 左心房あるいは左心耳

④左第4弓 左心室

心胸郭比(CTR : Cardio-Thoracic Ratio)

$$\frac{\text{心臓幅}}{\text{胸郭幅}} = \frac{a + b}{c + d} \times 100 (\%)$$

胸部X線写真前後像

医学英語 < P M >

オーガナイザー

教養・医学教育大講座 英語 教授 廣田麻子

教員名

教養・医学教育大講座 英語 教授 廣田麻子

耳鼻咽喉科学講座 講師 グンデウズ・メーメット

I 一般学習目標

医学に特化して、学術目的の英語力を磨き、習熟する。アカデミックな英語を深く正確に読むこと、聞いて理解すること、医学論文執筆の基礎、発表の仕方を習得する。

II 個別学習目標

1. 医学に特化した、アカデミックな英語を正しく理解する
2. 医療関連の記事の内容を理解する
3. 医学論文の内容を理解する
4. 医療に関わる表現を聞いて理解する
5. 医学に特化した学術目的のディスカッションをする
6. 医学論文の書き方を学ぶ
7. 医学に特化した学術英語語彙の語源を理解する
8. 医学に特化した学術英語語彙の語源の習得のためのラテン語とギリシア語の文法を理解する
9. 国際保健の現場を知る
10. 医療トピックを踏まえた実用英語に触れる

III 教育内容

- ・総合医学英語を教授する（廣田麻子 4月9日月曜5限、4月23日月曜5限、5月14日月曜4・5限、5月21日月曜4・5限）
- ・臨床の場で使われる英語の語彙を教授する（グンデウズ・メーメット 4月16日月曜4・5限）
- ・臨床の場で使われる英語の口語表現について教授する（グンデウズ・エスラ@耳鼻咽喉科学講座&廣田麻子 5月7日月曜4・5限）
- ・最新の発生医学研究を踏まえたAdvanced Medical English Lesson を教授する（Fahim Haque@遺伝子制御学研究所&廣田麻子 4月9日月曜4限）
- ・国際保健の現場の様子を教授する（大森千尋&廣田麻子 4月23日月曜4限）

IV 学習および教育方法

辞書を引いて予習することが必要である。

V 評価の方法

授業内試験80%、提出物20%で評価する。3分の2以上の出席が必須である。

VI 教科書・推薦する参考書

教科書：『講義録 医学英語 II 科学英語への扉』（メジカルビュー社）

参考書：松平千秋・国原吉之助『新ラテン文法』（東洋出版）、水谷智洋『古典ギリシア語初歩』（岩波書店）

免疫と生体防御〈C3〉

オーガナイザー

生体調節機構研究部 教授 改正恒康

教員名

生体調節機構研究部

教授 改正恒康

准教授 邊見弘明

助教 佐々木泉

皮膚科学講座

准教授 金澤伸雄

I 一般学習目標

免疫は病原体に対する応答機構であると共に、宿主由来の内因性物質に対する応答機構でもある。免疫の基本的なメカニズムとその破綻によって起こる、アレルギーや自己免疫疾患などの病態を理解する。

II 個別学習目標

1. 免疫系の重要性について説明できる。
2. 免疫担当細胞の種類とその機能について説明できる。
3. 自然免疫と獲得免疫の機能と意義について説明できる。
4. B細胞（抗体）、T細胞（T細胞受容体）による抗原認識について説明できる。
5. 抗体、T細胞受容体生成の分子機構を説明できる。
6. MHCについて説明できる。
7. 抗原提示の分子機構、特にMHCクラスI、クラスIIの抗原提示機構の違いについて説明できる。
8. B細胞、T細胞の生成過程について説明できる。
9. T細胞の教育（正の選択、負の選択、免疫寛容）について説明できる。
10. T細胞サブセットとその分化について説明できる。
11. 抗原提示細胞の種類と機能について説明できる。
12. リンパ節におけるB細胞活性化について説明できる。
13. 代表的なサイトカインとその機能を説明できる。
14. 感染に対する免疫応答について説明できる。
15. 免疫記憶について説明できる。
16. 移植免疫の問題点について説明できる。
17. 腸管免疫の概略について説明できる。
18. アレルギーの種類(I型からIV型)とその機序について説明できる。
19. 代表的な自己免疫疾患とその発症機序について説明できる。
20. 腫瘍免疫の概略について説明できる。
21. 主な先天性免疫不全症、AIDS、自己炎症性疾患について説明できる。
22. 遺伝子改変マウスの基本原理とその応用について説明できる。
23. 核酸認識システムとその破綻について説明できる。
24. 代表的な免疫制御剤、生物学的製剤（抗体）とその機序について説明できる。

遺 伝 子 と 遺 伝 子 異 常 < C 2 & C 4 >

オーガナイザー

分子遺伝学講座の教授

教 員 名

分子遺伝学講座の教員

総合周産期母子医療センター 准教授 南 佐和子

I 一般学習目標 (※)

遺伝情報・ゲノム情報の特性を理解し、遺伝情報・ゲノム情報に基づいた診断と治療、未発症者を含む患者・家族の支援を学ぶ。

II 個別学習目標 (※)

1. 集団遺伝学の基礎として Hardy-Weinberg の法則を概説できる。
2. 家系図を作成、評価 (Bayes の定理、リスク評価) できる。
3. 生殖細胞系列変異と体細胞変異の違いを説明でき、遺伝学的検査の目的と意義を概説できる。
4. 遺伝情報の特性 (不変性、予見性、共有性) を説明できる。
5. 遺伝カウンセリングの意義と方法を説明できる。
6. 遺伝医療における倫理的・法的・社会的配慮を説明できる。
7. 遺伝医学関連情報にアクセスすることができる。
8. 遺伝情報に基づく治療や予防をはじめとする適切な対処法を概説できる。
9. エピゲノムの機序及び関連する疾患を概説できる。
10. 多因子疾患における遺伝要因と環境要因の関係を概説できる。
11. 薬剤の有効性や安全性とゲノムの多様性との関係を概説できる。

III 教育内容

担当教員が決まり次第追って掲示する。

IV 学習および教育方法

担当教員が決まり次第追って掲示する。

V 評価の方法

担当教員が決まり次第追って掲示する。

VI 教科書・参考書

担当教員が決まり次第追って掲示する。

※ 参考として医学教育モデル・コア・カリキュラム (平成28年度改訂版) を引用している。
実際の講義内容は、担当教員が決まり次第追って掲示する。

臨床実習日程
 (平成28年2月～)

周期	日 割 り	備 考
1	2月29日 ～ 3月11日	
2	4月11日 ～ 4月22日	
3	4月25日 ～ 5月13日	4/29昭和の日、5/3憲法記念日、5/4みどりの日、 5/5こどもの日、(5/2,6臨時休業日)
4	5月16日 ～ 5月27日	
5	5月30日 ～ 6月10日	
6	6月13日 ～ 6月24日	
7	6月27日 ～ 7月8日	
8	7月11日 ～ 7月22日	7/18海の日
9	9月5日 ～ 9月16日	
10	9月19日 ～ 9月30日	9/19敬老の日、9/22秋分の日
11	10月3日 ～ 10月14日	10/10体育の日
12	10月17日 ～ 10月28日	
13	10月31日 ～ 11月11日	11/3文化の日
14	11月14日 ～ 11月25日	11/23勤労感謝の日
15	11月28日 ～ 12月9日	
16	12月12日 ～ 12月23日	12/23天皇誕生日
17	1月9日 ～ 1月20日	1/9成人の日
18	1月23日 ～ 2月3日	
19	2月6日 ～ 2月17日	
20	2月20日 ～ 3月3日	2/20開学記念日
21	3月6日 ～ 3月17日	
22	3月20日 ～ 3月31日	3/20春分の日
休	4月3日 ～ 4月7日	春休み①
①	4月10日 ～ 4月28日	
休	5月1日 ～ 5月19日	臨時休業 春休み②
②	5月22日 ～ 6月9日	
③	6月12日 ～ 6月30日	
④	7月3日 ～ 7月21日	7/17海の日

臨床実習日程
(平成29年2月～)

周 期	日 割 り	備 考
1	2月20日 ～ 3月3日	2/20開学記念日
2	3月6日 ～ 3月17日	
3	4月3日 ～ 4月14日	
4	4月17日 ～ 4月28日	
5	5月8日 ～ 5月19日	
6	5月22日 ～ 6月2日	
7	6月5日 ～ 6月16日	
8	6月19日 ～ 6月30日	
9	7月3日 ～ 7月14日	
10	7月17日 ～ 7月28日	7/17海の日
11	9月11日 ～ 9月22日	9/18敬老の日
12	9月25日 ～ 10月6日	
13	10月9日 ～ 10月20日	10/9体育の日
14	10月23日 ～ 11月3日	11/3文化の日
15	11月6日 ～ 11月17日	
16	11月20日 ～ 12月1日	11/23勤労感謝の日
17	12月4日 ～ 12月15日	
18	12月18日 ～ 12月29日	
19	1月15日 ～ 1月26日	
20	1月29日 ～ 2月9日	
21	2月12日 ～ 2月23日	2/12振替休日 2/20開学記念日
22	2月26日 ～ 3月9日	
①	3月12日 ～ 3月30日	3/21春分の日
②	4月2日 ～ 4月20日	
休	4月23日 ～ 5月11日	春休み及び臨時休業
③	5月14日 ～ 6月1日	
④	6月4日 ～ 6月22日	
⑤	6月25日 ～ 7月13日	

希望する診療科・期間に名前を記入してください。(締切11月13日(火))

平成31年度(2019年度) 6年次選択ポリクリ(院外) 受入人数一覧

施設名	診療科名	2019年 2/18~3/8 (3週間)	2019年 3/11~3/29 (3週間)	2019年 4/8~4/26 (3週間)	2019年 5/20~6/7 (3週間)	2019年 6/10~6/28 (3週間)	2019年 7/1~7/19 (3週間)
紀北分院	総合診療科	4人	4人	4人	4人	4人	4人
	整形外科・脳外科	2人	2人	2人	2人	2人	2人
こころの医療センター	精神科	0人	0人	0人	0人	4人	0人
和歌山病院	呼吸器内科	2人	2人	2人	2人	2人	0人
橋本市民病院	循環器内科	0人	0人	0人	1人	1人	0人
	産婦人科	0人	0人	0人	1人	1人	1人
	呼吸器内科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	整形外科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	乳腺呼吸器外科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	外科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	脳神経外科	1人	0人	1人	1人	1人	0人
	歯科口腔外科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	総合内科	0人	0人	0人	3人	3人	3人
	公立那賀病院	内科	2人	0人	2人	0人	2人
外科		0人	0人	0人	1人	0人	0人
呼吸器内科		0人	0人	1人	1人	1人	1人
呼吸器外科		2人	2人	2人	2人	2人	2人
整形外科		2人	0人	0人	2人	2人	2人
腎臓内科		1人	1人	1人	1人	1人	1人
耳鼻咽喉科		0人	0人	0人	1人	0人	0人
和歌山労災病院	麻酔科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	外科	2人	2人	2人	2人	2人	2人
	整形外科	2人	2人	2人	2人	2人	2人
	産婦人科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	耳鼻咽喉科	2人	2人	2人	2人	2人	2人
	内科	2人	2人	2人	2人	2人	2人
	呼吸器内科	0人	1人	0人	0人	1人	1人
	消化器内科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	血液内科	1人	0人	0人	0人	1人	0人
	神経内科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	循環器内科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
済生会和歌山病院	糖尿病・代謝内科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	循環器内科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	消化器内科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	整形外科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	脳神経外科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	心臓血管外科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	消化器外科	1人	1人	1人	1人	1人	1人

※受入可能人数については、診療科に係らず、最大合計8名まで。

希望する診療科・期間に名前を記入してください。(締切11月13日(火))

平成31年度(2019年度) 6年次選択ポリクリ(院外) 受入人数一覧

施設名	診療科名	2019年 2/18~3/8 (3週間)	2019年 3/11~3/29 (3週間)	2019年 4/8~4/26 (3週間)	2019年 5/20~6/7 (3週間)	2019年 6/10~6/28 (3週間)	2019年 7/1~7/19 (3週間)
海南医療センター 1クール最大6名(男3、女3)で調整要。	整形外科	1人	0人	1人	1人	1人	0人
	内科	2人	2人	2人	2人	2人	2人
	皮膚科	0人	0人	0人	1人	1人	1人
	外科	2人	2人	2人	2人	2人	2人
	泌尿器科	1人	0人	1人	1人	1人	1人
	婦人科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
有田市立病院	整形外科	4人	4人	4人	4人	4人	4人
	内科	3人	3人	3人	3人	3人	3人
	泌尿器科	0人	0人	0人	0人	1人	0人
	外科	1人	0人	1人	0人	1人	0人
済生会有田病院	受け入れ不可						
国保日高総合病院	産婦人科	0人	2人	0人	0人	0人	2人
	循環器内科	2人	0人	2人	0人	2人	0人
	第一内科(消化器)	2人	0人	0人	2人	0人	0人
	第二内科(内分泌)	0人	0人	0人	0人	2人	2人
南和歌山医療センター ※宿泊施設を利用する場合は、1人部屋×2、4人部屋×1の最大6名までとなっている為、男女の人数調整要。	内科	2人	2人	2人	2人	2人	2人
	循環器科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	外科	2人	2人	2人	2人	2人	2人
	脳神経外科	2人	2人	2人	2人	2人	2人
	整形外科	2人	2人	2人	2人	2人	2人
	胸部・心臓血管外科	2人	2人	2人	2人	2人	2人
	救命救急科	2人	2人	2人	2人	2人	2人
紀南病院	内科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	循環器科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	心臓血管外科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	外科	1人	1人	0人	0人	0人	0人
国保すさみ病院	総合診療(内科・外科)	1人	0人	0人	0人	1人	0人
那智勝浦温泉病院	整形外科	0人	1人	1人	1人	0人	1人
	内科	0人	0人	0人	2人	2人	2人
	リハビリテーション科	0人	0人	0人	1人	1人	1人
新宮市立医療センター	内科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	神経内科	1人	1人	1人	0人	1人	1人
	循環器内科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	脳神経外科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	整形外科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	腎臓内科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	小児科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	産婦人科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	外科	0人	0人	0人	1人	1人	1人
	泌尿器科	1人	1人	1人	1人	1人	1人

は、大学から依頼があれば、できるだけ学生を受け入れなくてはならない。

・院内2クールと院外4クールの組み合わせを選択できないようにする方が良い。何も条件を付けないままだと院外4クールとする学生が出てくる可能性もある。

(村田委員)

最大で院外は3クール(=9週間)までとするように検討する。

【夏休みについて】

現5年生(平成30年度)の夏休みは、「8月6日～9月3日の5週間」。西医体があるので、その期間に設定した。

臨床実習は4週間1セットのため、週を分けられない。現4年生(平成31年度)は、西医体に出られるように「8月5日～9月2日の5週間」を休みとして原案を作成している。

(学生委員)

原案では、「12月30日～1月6日の2週間」が冬休みとなっているが、他府県から和医大へ来ている学生は年末に家でゆっくりできない。個人的な案としては、ポリクリの週を1週間繰り上げてはどうか。夏休みとなっている「8月5日～9月2日の5週間」を「8月5日～8月26日の4週間」とし、冬休みの「12月30日～1月6日の2週間」を「12月23日～1月6日の3週間」にすれば、遠方からの学生も年末にゆっくりと過ごせるのでは。

また、春に大会がある運動部があるので、原案では2月～ゴールデンウィークまでバラバラに休みの週(原案:2月10日、3月30日、4月27日～5月11日の週)が入っているが、春に休みを固められないか。具体的には、選択ポリクリを1週間前倒して、2月10日の週の休みを無くす。選択ポリクリ第2クール終了後の「3月23日～4月13日の4週間」を春休みとできないか。

(学生課)

3月30日の週の休みについては、4月に年度を跨いでしまうため、外部病院との手続きなどの関係から事務処理上設定している。

(村田委員)

5月の休みはゴールデンウィークのため動かさない。

2月10日の週の休みを後ろにずらして、「2月10日～3月16日の6週間」を選択ポリクリ。「3月23日～3月30日の2週間」を春休みという案で検討する。

2 基礎配属報告会について

《村田委員から、資料に基づき説明。》

今年度から3年生のカリキュラムの基礎配属を通年化して行うことにより、時間数がかなり増えている。2月19日の4、5限から始まり、11月2日までと、去年の2倍程度の時間で行っている。基礎配属後に、学生が行ったことに対して表彰を行うため、平成31年1月18日の1～5限に基礎配属報告会を行う。先日の基礎教授懇談会で作成した実施案について、本

取扱注意

臨床実習後客観的臨床能力試験 (Post-CC OSCE) 実施計画

- 1 日 時 ◆本試験 平成30年7月18日(水) 9:00~16:37
◆再試験 平成30年7月25日(水)
- 2 場 所 ◆実施会場: OSCE 研修室(高度医療人育成センター4F)
- 3 受験者 ◆医学部6年生 95名 (追・再試験は該当学生のみ)

○日程: 7/3、7/9	学内評価者事前研修会
7/17	医学部6年生への説明会
7/18 前日	必要物品の搬入、受験生控室等 設営
7/18	臨床実習後客観的臨床能力試験 (Post-CC OSCE) 実施
7/25	再試験

平成30年度 卒業試験（第1回）

解答及び解説

※解説は臨床検査医学、消化器系（第二外科分）

平成30年度 第2回卒業試験 正答

A問題：75問

B問題：50問

C問題：75問

D問題：75問

E問題：50問

F問題：75問

レスポンス・アナライザー（クリッカー）利用状況

2018年6月28日	研究会	皮膚科学教室	神人先生
2018年10月22日	皮膚科学	皮膚科学教室	神人先生
2018年11月15日	医学概論Ⅱ	非常勤講師	川邊先生
2019年1月16日	基礎配属報告会	教育研究開発センター	村田先生
2019年4月13日	研究会	皮膚科学教室	神人先生
2019年6月6日	神経内科学	脳神経内科学教室	石口先生

mini-CEX のオンラインフォームについて

本年より mini-CEX は PC・スマートフォン・タブレットからご提出ください。

この URL・パスワードは学生には見せないようご注意ください。

https://goo.gl/**** パスワード = ****



臨床実習報告ページ

制作 教育研究開発センター(5850)

*必須

パスワードを入力してください。*

回答を入力

次へ

簡易版臨床能力評価表(学生評価用)

Revised mini-clinical evaluation exercise (mini-CEX) form

*必須

診療科 *

神経内科学

評価者氏名 *

村田顕也

学生氏名 *

A 小倉圭史

実習開始日 *

2/12

評価場面 *

救急外来

救急入院

一般外来

入院

手術

その他:

症例の複雑度

1 2 3

低 ○ ● ○ 高

病歴聴取能力 (患者の話しの促進: 正確で十分な情報を得るための適切な質問: 情報に必要な言語的、非言語的な手がかりに対する適切な応答)

期待以下 1

身体診察能力 (効果的、論理的な順序での診察: 問題点にそった適切な診察: 患者への説明: 診察上の患者への配慮: 謙虚さ)

観察されず

コミュニケーション能力 (患者の解釈モデルへの注視: 専門用語を使わない: 開放的、誠実、共感的な態度)

境界 3

臨床判断能力 (適切な診断と診療計画の作成: 診断に必要な提案: リスクと恩恵の考慮)

期待通り 4

コミュニケーション能力 (患者の解釈モデルへの注視: 専門用語を使わない: 開放的、誠実、共感的な態度)

境界 3

臨床判断能力 (適切な診断と診療計画の作成: 診断に必要な提案: リスクと恩恵の考慮)

期待通り 4

プロフェッショナリズム能力 (敬意、思いやり、共感の提示、信頼関係の構築: 快適さ、敬意、守秘についての患者の要望への対応: 倫理的な態度: 診療の限界点に関する気付き)

別評価者が記入予定

診療の組み立て・効率の良さ (簡潔でタイムリーな診療の優先順位づけ: 適切な要約)

別評価者が記入予定

総合的臨床能力 (満足できる臨床判断、組み立て、ケア、有効性の提示)

別評価者が記入予定

複数人で分担する場合は「別評価者が記入予定」を選んでください。

フィードバック

良かった点

回答を入力

改善すべき点

もう少し積極的に参加してほしい。

あんなところ.....

こんなところ.....

戻る

送信

【臨床実習ディレクター会議議事録より】

臨床能力評価表に基づく学生の評価及び指導部分について抜粋

平成30年度 第2回臨床実習ディレクター会議議事録

日時:平成30年6月21日(木) 17時00分～17時50分

場所:図書館棟3階 生涯研修センター 研修室

議 題

1. 臨床実習における臨床能力評価について

- ・ 教育研究開発センター村田教授より、各科からの mini-CEX の提出状況及び提出されたデータを集計した結果(資料1-3、資料1-4)を基に学生の評価について説明。
- ・ 資料1-3については、評価「3」以下がある学生一覧であり、総合的臨床評価が「2」となっている学生は注意が必要な学生である。
- ・ 資料1-4については、各教員が入力してくれた評価コメントを一覧にまとめたものである。学生の臨床実習に対する姿勢や態度についてまとめている。その中で、評価コメントがマイナスな学生が数名いる。各診療科においては、該当する学生について注意してみよう依頼。
- ・ 学生名が記載された資料については、当日回収としたため、注意する学生を再度確認したい場合は教育研究開発センターに問い合わせてもらおう旨補足説明。
- 班については、評価コメントや実習先診療科からの指摘等もあり、班員全員を呼出し、面談により注意した。学生達は改善策(班内での情報共有の方法等)を話し合い、改善策を実行していくことを面談の時に約束したので、各診療科において、●●班の態度等は注意してみよう依頼。

(4) 特別配慮の必要な学生について**○村田委員及び平井委員から下記のとおり報告があった。**

(村田委員)

- ・本年度に入学した特別配慮が必要な学生について、リハビリテーション教室の田島委員と診察を行ったこと、障害の状況や可能な運動能力について確認した。
- ・センター試験の受験上の配慮については、科目によっては時間の延長があること、文鎮等の持ち込みの許可、マークシートは塗りつぶしではなく、チェックで行ったこと等である。

(平井委員)

- ・山田委員長、村田委員の3人で修学の上で、どのような配慮を希望するか確認するため、本人と面接を行った。
- ・本人から講義等に文鎮等の持ち込みを希望し、許可をした。座る席については、前の方でかつ、左での筆記となるため右端の席に座らせている。
- ・実習については、比較的使いやすい器具を使わずようにするが、生物はマウスの解剖が一人では無理だと思われるので、教員及びグループの学生が補助する必要があると思う。
- ・掲示物は、写真撮影を禁止としているため、通常は学生がメモを取るようになっている。本学生は立ったままでメモを取ることが出来ないため、写真撮影を希望したが、他の学生と同様の扱いとして、別途書類を直接渡すことで対応することとした。
- ・マークシートの試験は、村田委員の報告したとおりで対応できるが、筆記試験の場合は、本人の説明では、書くスピードは他の学生と変わらないということであり、当面は、他の学生と同じ時間で実施し、不都合がある場合は、再度、検討することとした。

(山田委員長)

- ・今後も、本学生への特別配慮について、協議を必要とする事案が出てきた場合は、本委員会ですの都度協議することとする。

(村田委員)

- ・5月1日(火)に実施する英語の TOEFL - ITP の試験については、センター試験で実施されているやり方と同様に問題用紙に本人がチェックして、試験監督員が本人に確認しながら転記するというやり方を今回に限り行う。今後のマークシートの取り扱いについては、その都度検討が必要と思われる。

(5) 休学について**○事務局から資料に基づき説明し、承認された。**

(説明要旨)

- ・本人からの休学願が提出されたのは3月22日であるが、年度末でもあり、新年度は教務学生委員会委員も新たに代わるため、少し審議が遅くなるが、今回の委員会で議題として提案させていただいた。
- ・休学者 ○○○○○
- ・期 間 平成30年4月1日～平成30年7月31日
- ・理 由 体調不良のため

(金桶委員)

- ・休学願には診断書は不要か。

(事務局)

- ・診断書は休学願と一緒に提出されているが、今回の会議資料としては出していない。病気の場合は、診断書が必要と休学願の様式に明記されている。

(鶴飼委員)

- ・確認であるが、休学願の休学理由のところには診断書の病名が書かれていなくても良いのか。体調不良という曖昧な表現でも良いのか。

(事務局)

- ・書いてくる学生もあれば、体調不良としか書いてこない学生もいる。

(鶴飼委員)

- ・この休学願は、体調不良と書かれているので、病気で休学するのか、また、診断書が提出されているのか分からない。

(塩崎委員)

- ・次回から、体調不良と書いてきた場合は、病気のためと書くように学生に指導することとする。

平成30年3月

担任制について

担任制の概要

- 1 対象学年は1年生・2年生とする。
- 2 1年生は教養、2年生は基礎系の教員を担当とする。
- 3 教員一人当たりの学生数を原則として10名未満とする。
- 4 留年生は教務学生委員会委員を担当とする。
- 5 担任の役割は以下のとおりとする。
 - (1) 修学面、生活面（経済的なものを含む）、健康面の相談窓口となる。
 - (2) 学生の修学、生活、健康上の状況を把握し、学生部長に報告する。
 - (3) 欠席が多い学生と面談を行う。
 - (4) 成績不振者と面談を行う。



[受験生の方へ](#)

[在学生の方へ](#)

[卒業生の方へ](#)

[企業・研究機関の方へ](#)

[地域・一般の方へ](#)



[大学案内](#)

[学部・大学院等](#)

[入試・入学案内](#)

[図書館・関連施設](#)

[研究・産官学連携](#)

[附属病院](#)

[ホーム](#) > [在学生の方へ](#) > [医学部生の相談ホットライン](#)

医学部生の相談ホットライン

学生生活を送っていく中で、勉学に関すること、健康に関すること、経済的なこと、人間関係など様々な悩みがあります。医学部では、担任制を設けていますが、直接担任と向かい合って相談しづらい内容であることも少なくありません。そういう場合は、この医学部生の相談ホットラインをご活用ください。

なお、相談内容により、相談者の了解を得たうえで、健康管理センター(体や心に関する悩み)や危機対策室(ハラスメントに関する悩み)などの学内の相談先を紹介させて頂く場合があります。

- ・ 相談内容や個人情報等の秘密は守ります。
- ・ 匿名でも相談できます。(ただし、匿名の場合、回答ができなくなりますので、必ず返信先メールアドレスを入力してください。)

医学部生の相談ホットライン

利用する場合は、[クリックしてください](#)

[サイトマップ](#) [サイトポリシー](#) [関連リンク](#) [学内向け案内](#)

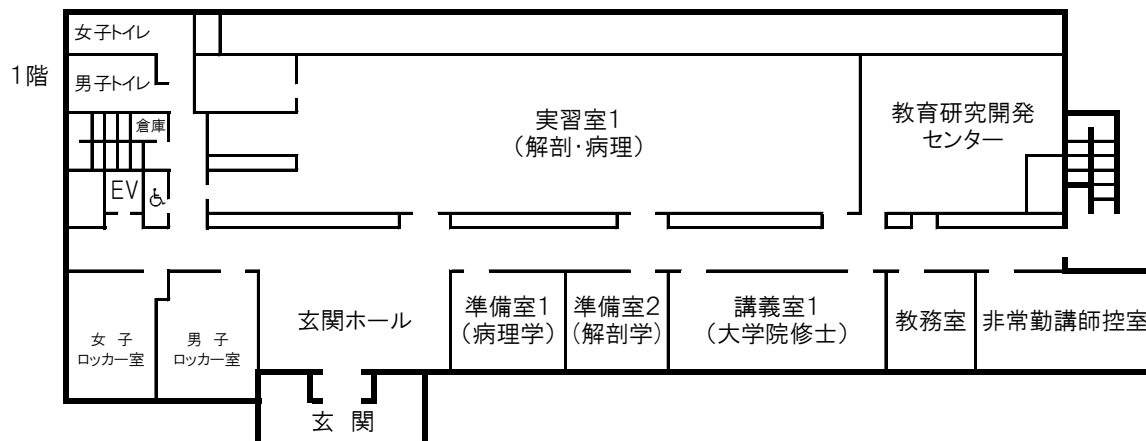
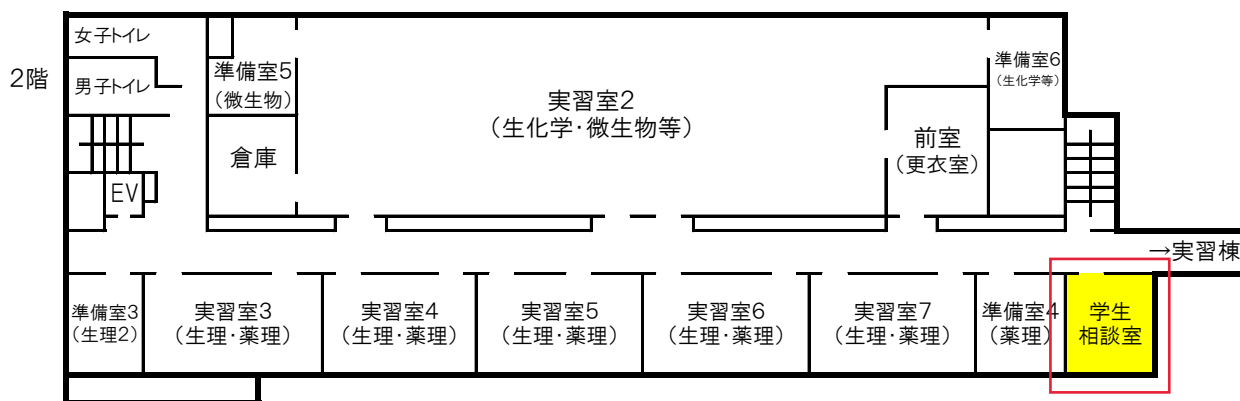
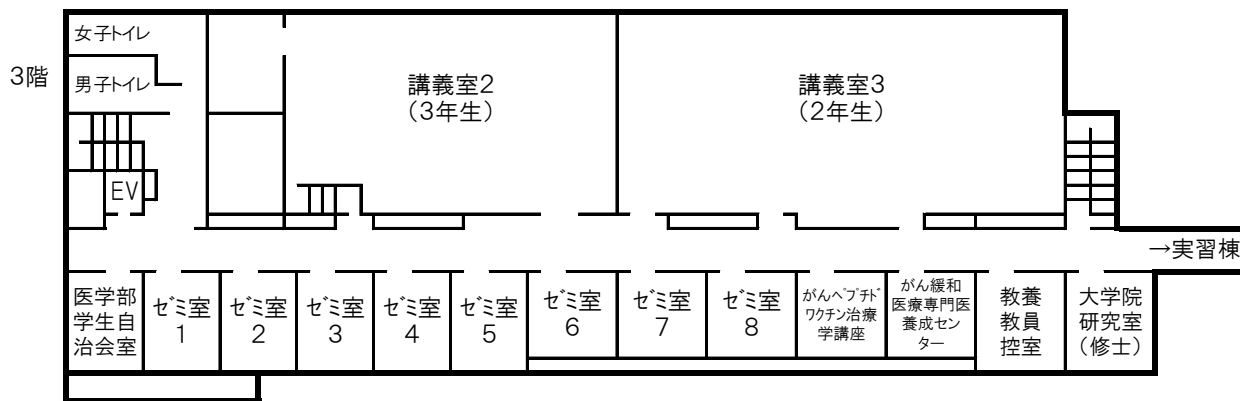


和歌山県立医科大学
WAKAYAMA MEDICAL UNIVERSITY

医学部: 〒641-8509 和歌山市紀三井寺811番地1 TEL:073-447-2300(代表)

保健看護学部: 〒641-0011 和歌山市三葛580番地 TEL:073-446-6700

基礎教育棟



医学部教員男女別人数(平成27年度～令和元年度)

平成27年4月1日

所 属	現 員		現員の内訳			
			教授	准教授	講師	助教
医学部		313	44	42	89	138
	男	269	43	38	78	110
	女	44	1	4	11	28

女性の比率 14.1%

平成28年4月1日

所 属	現 員		現員の内訳			
			教授	准教授	講師	助教
医学部		336	47	47	86	156
	男	285	46	39	75	125
	女	51	1	8	11	31

女性の比率 15.2%

平成29年4月1日

所 属	現 員		現員の内訳			
			教授	准教授	講師	助教
医学部		335	48	48	92	147
	男	280	46	40	79	115
	女	55	2	8	13	32

女性の比率 16.4%

平成30年4月1日

所 属	現 員		現員の内訳			
			教授	准教授	講師	助教
医学部		337	46	51	88	152
	男	286	44	43	75	124
	女	51	2	8	13	28

女性の比率 15.1%

平成31年4月1日

所 属	現 員		現員の内訳			
			教授	准教授	講師	助教
医学部		352	50	57	89	156
	男	295	48	47	78	122
	女	57	2	10	11	34

女性の比率 16.2%

和歌山県立医科大学教員選考規程

制 定 昭和 47 年 1 月 25 日 和医大規程第 1 号
最終改正 平成 27 年 6 月 5 日 和医大規程第 23 号

(趣旨)

第 1 条 この規程は、和歌山県立医科大学（以下「本学」という。）における教授、准教授、専任の講師、及び助教（以下「教員」という。）の選考について必要な事項を定めるものとする。

(選考)

第 2 条 教員の選考は、次の各号のいずれかに該当する場合に行う。

- (1) 教員が定年又は任期満了により退職し、後任を採用する必要があるとき。
- (2) 教員からの退職の申出を理事長が受理し、後任を採用する必要があるとき。
- (3) 教員の増員又は上位職への振替えの必要があるとき。
- (4) その他教員が欠員となり後任を採用する必要があるとき。

(教授の資格)

第 3 条 教授となることができる者は、次の各号のいずれかに該当し、教育研究上の能力があると認められる者とする。

- (1) 博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む。）を有し、研究上の業績を有する者
- (2) 研究上の業績が前号の者に準ずると認められる者
- (3) 学位規則（昭和 28 年文部省令第 9 号）第 5 条の 2 に規定する専門職学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む。）を有し、当該専門職学位の専攻分野に関する実務上の業績を有する者
- (4) 大学において教授の経歴のある者
- (5) 大学において准教授の経歴があり、教育研究上の業績があると認められる者
- (6) 芸術、体育等について、特殊の技能に秀で、教育の経歴がある者
- (7) 専攻分野について、特に優れた知識及び経験を有すると認められる者

(准教授の資格)

第 4 条 准教授となることができる者は、次の各号のいずれかに該当し、教育研究上の能力があると認められる者とする。

- (1) 前条に規定する教授となることができる者
- (2) 大学において准教授又は専任の講師の経歴がある者
- (3) 大学において 3 年以上助教又はこれに準ずる職員としての経歴がある者
- (4) 修士の学位又は学位規則第 5 条の 2 に規定する専門職学位（外国において授与されたこれらに相当する学位を含む。）を有する者
- (5) 研究所、試験所、調査所等に 5 年以上在職し、研究上の業績があると認められる者
- (6) 専攻分野について、優れた知識及び経験を有すると認められる者

(専任の講師の資格)

第 5 条 専任の講師となることができる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 第 3 条又は前条に規定する教授又は准教授となることのできる者
- (2) その他特殊な専攻分野について、教育研究上の能力を有すると認められる者

(助教の資格)

第6条 助教となることができる者は、次の各号のいずれかに該当し、教育研究上の能力があると認められる者とする。

- (1) 第3条各号又は第4条各号のいずれかに該当する者
- (2) 修業年限を6年又は4年とする大学を卒業した者で、専攻分野について、十分な知識及び経験を有すると認められる者

(選考の方法)

第7条 教員の選考方法については、教育研究審議会において別に定める。

(規程の改正)

第8条 この規程の改正は、教育研究審議会の審議を経て学長がこれを行う。

(補則)

第9条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この規程は、昭和47年1月25日から施行する。
- 2 和歌山県立医科大学教員選考基準に関する規程（昭和24年和歌山県立医科大学規程第27号）は、廃止する。

附 則（平成16年4月1日和医大規程第78号）

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則（平成19年4月1日和医大規程第83号）

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成21年6月23日和医大規程第29号）

- 1 この規程は、平成21年6月23日から施行する。
- 2 保健看護学部については、当分の間、第6条各号に定めるもののほか、修業年限を3年とする大学等を卒業した者で、専攻分野について十分な知識と経験を有すると認められる者を助教の資格とすることができる。

附 則

この規程は平成27年6月5日から施行し、改正後の和歌山県立医科大学教員選考規程の規定は、同年4月1日から適用する。

[受験生の方へ](#)[在学生の方へ](#)[卒業生の方へ](#)[企業・研究機関の方へ](#)[地域・一般の方へ](#)[大学案内](#)[学部・大学院等](#)[入試・入学案内](#)[図書館・関連施設](#)[研究・産官学連携](#)[附属病院](#)[ホーム](#) > [図書館・関連施設](#) > [ワークライフバランス支援センター](#)

ワークライフバランス支援センター



- [センター長あいさつ](#)
- [ワークライフの両立のために](#)
- [復職支援について](#)
- [センターについて](#)
- [附属病院託児施設 クレヨン保育園](#)
(入所をお考えのかたはこちら)
- [女性医師キャリア継続支援について](#)

センター長あいさつ



近年、女性の医療従事者が増加し、結婚を契機にそれまでの仕事と出産・育児の両立が難しくなったり、また男性・女性を問わず、高齢者社会の中で家族の介護等で多忙な医療職を継続することが困難になったりする場合もあります。

仕事とこれらの状況を両立させるための職場環境の体制整備が十分でないと、大学病院等の第一線の職場を離職せざるを得ないケースも珍しくなく、このことは深刻な医療従事者不足の要因になるばかりでなく、何よりも個々のキャリア形成の妨げとなり、専門職としての能力を発揮できないことに繋がります。

これらを根本的に解消するため、これまで本学にあった女性医療人支援センターをさらに発展的に拡大し、2017年4月よりワークライフバランス支援センターが設置されました。

センターでは、本学のすべての職員を対象にワークライフバランス(仕事と生活の調和)の支援を行っていきます。具体的には、職員の出産・育児・介護等と仕事の両立支援および職場復帰支援、女性医師のキャリア継続支援、院内託児施設の充実・学童保育等の実施、多様な就業条件の提供、相談窓口の設置などを通じて、男性・女性を問わず、すべての職員が気持ちよく前向きに働き続けられるような職場環境の構築を目指し、継続的なキャリアアップが実現するよう支援していきたく思います。今後とも、当センターの取組にご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

ワークライフバランス支援センター
センター長 井筒 一彦

センターについて

平成29年4月から女性医療人支援センターが「ワークライフバランス支援センター」にリニューアルしました。

本学の職員のみなさん、ひとりひとりがいきいきと働き充実した生活を送れる“仕事と生活の調和(ワークライフバランス)実現を支援することができるよう『奏でよう！ワークとライフのハーモニー♪♪』をコンセプトに、働きやすい職場環境づくりに努めてまいります。

■ スタッフ紹介

センター長	井籠 一彦	和歌山県立医科大学産科・婦人科学講座 教授(兼任)
副センター長	島 友子	和歌山県立医科大学小児科学講座 講師(兼任)
主幹	武用 百子	看護キャリア開発センター 副センター長(兼任)
センター教員	上田 美奈	和歌山県立医科大学小児科学講座 助教(兼任)
	中田 亮子	和歌山県立医科大学麻酔科学講座 助教(兼任)
	太田 菜美	和歌山県立医科大学総合周産期母子医療センター 助教(兼任)
看護師	関口 紗代	看護キャリア開発センター 副主査看護師(兼任)
事務員	永本 千安紀	看護キャリア開発センター 副主査(兼任)

ワークライフの両立のために

本学では、職員の皆さんが出産や育児および介護と仕事を両立するために必要な各種の休暇・休業等の制度を用意しています。

■ 出産・育児をサポートする制度

※職員の方は「学内ページ」→「ワークライフバランス」もしくは、電子カルテのサイボウズをご覧ください

1. 妊娠中の通勤緩和
2. つわり休暇
3. 妊娠・産後の保健指導等
4. 産前産後休暇
5. 妻の出産
6. 男性職員の育児参加
7. 育児時間休暇
8. 育児休業
9. 育児短時間勤務
10. 育児のための早出遅出勤務
11. 育児部分休業
12. 時間外勤務の制限・時間外勤務の免除・深夜勤務の制限
13. 子の看護休暇

■ 介護をサポートする制度

※職員の方は「学内ページ」→「ワークライフバランス」もしくは、電子カルテのサイボウズをご覧ください。

1. 短期介護休暇
2. 介護休暇
3. 介護のための早出遅出勤務

4. 時間外勤務の制限
5. 時間外勤務の免除
6. 深夜勤務の制限

附属病院託児施設 クレヨン保育園

クレヨン保育園について

附属病院託児施設 クレヨン保育園は、本学附属病院で働く教職員（医療従事者）のための託児施設です。ワークライフバランス支援センターは、管理・運営を担当しています。

保育園に関しましては、当センターまでお問合せください。

入所をご希望の方は、下記ご案内をご覧ください。

- [クレヨン保育園のご案内](#)
- [和歌山県立医科大学附属病院託児施設入所申込書](#)

所在地

〒641-0012 和歌山市紀三井寺768-9

電話:073-447-2367

施設概要

建物構造	鉄筋コンクリート造1階
屋内施設	保育室、病児保育室、遊戯室、調理室、トイレ、事務室等 計756.1㎡
屋外施設	園庭
駐車場	月極
設置形態	企業主導型保育事業
設置者	和歌山県立医科大学理事長
運営体制	「和歌山県立医科大学附属病院託児施設管理運営委員会」の協議に基づき運営
利用対象	本学附属病院に勤務する、助産師、看護師、医師（教員・学内助教・研修医）、医療技術職員が養育する子ども
収容定員	100名
委託業者	社会福祉法人 さつき福祉会

復職支援について

準備中

女性医師キャリア継続支援について

女性医師のキャリア形成に関する相談

当センター所属の女性医師が、対面・メールなどで対応します。まずは、ワークライフバランス支援センターにご連絡ください。
妊娠・出産、介護に限らず、「キャリアを形成する」という視点で、どなたでもご利用ください。

クレヨン保育園のご案内

クレヨンの色が1本1本違うように、子ども達も一人ひとり個性を生かし伸ばしていく保育を！

園長ご挨拶

平成12年4月に当初園児12名でスタートいたしました。その後、年々入園される園児が増加し、定員人数も平成30年度には80名から100名に増えました。

クレヨンの色が1本1本違うように、子ども達も一人ひとり個性を生かし伸ばしていく保育を！という願いを込めて『クレヨン保育園』と名付けられました。

クレヨン保育園では「明るく 元気に たくましく」というモットーを念頭におき、子ども一人ひとりの気持ちを大切に、温かく見守る中で心身ともにすこやかな育成を図り、豊かな人間形成の基礎を培うことを方針としております。また、保護者の方に安心してお勤めに専念して頂けるように心がけております。

これからも、ご意見やご要望に耳を傾け、保護者の方も、子ども達もともに利用しやすい施設にしていくことを目指します。入園を希望される方は、クレヨン保育園の見学にお越しください。お待ちしております。

和歌山県立医科大学附属病院託児施設 クレヨン保育園

園長 本多 みゆき

保育について

さまざまな経験を通して、心身ともにすこやかな育成を図り、豊かな人間形成の基礎を培うことを方針としています

定員

100名

児童福祉施設設備運営基準第33条第2項に規定する数に準じて、安全な保育が提供できるよう、児童数に合わせた保育者の配置をしております。年度途中など、時期によって新規受け入れの難しいクラスが発生する場合がありますので、ご了承ください。

受け入れが難しいパターンの例)

- ・入所予定日より3か月前までに、入所申請ができなかった場合
- ・年度途中の低年齢児

※0歳児は児童3名に対して保育者1名を配置が必要となります。保育者数の増員が難しい場合は、安全な保育の提供ができないことを理由に受け入れをお断りする場合があります

対象児童

- ・本学附属病院に勤務する助産師、看護師、教員(医師)、学内助教(医師)、研修医、医療技術職員の児童
- ・対象年齢 0歳から小学校就学まで

<<平成30年度 教育研究開発センター 事業実績>>

FD研修会（医学部）開催実績

	内 容	実 施 年 月 日
第1回	①テーマ：第112回医師国家試験の出題傾向と客観的問題の作成方法について ②講 師：岩手医科大学医学部客員教授(医学教育学) 塩澤 昌英 氏 ③参加者：教員 14名	平成31年2月1日(金)
第2回	①テーマ：高大接続改革の現状と課題 ～大学・予備校・高校の動向等～ ②講 師：学校法人河合塾 教育イノベーション本部 教育研究部 中島 由起子 氏 ③参加者：教員 40名	平成31年2月7日(木)
第3回	①テーマ：本年度卒業試験の概要について ②講 師：教育研究開発センター センター長 村田 顕也 ③参加者：教員 33名	平成31年3月26日(火)



学生カルテ操作演習マニュアル

1 a. テスト患者の検索

ID入力で患者ID90000102「テスト102」を検索する。

ID=90000102
または氏名で「テスト」
で検索する。

1 b. 学生カルテの起動

対象の患者の電子カルテを開き、ランチャーから「学生カルテ」を起動する。

カルテを選択

表示されていない場合はスクロールする

1c. ワークフロー画面へ

DocuMakerが起動したらワークフロー画面へ

このウィンドウは無視する
(現在削除申請中)

ワークフロー画面へ

ここからは
学生カルテは
書けません

2. ワークフロー作成

ワークフロー作成せずに学生カルテは作れません

3. 文書追加画面呼び出し

文書追加を押してカルテを選択

カルテとサマリの2種類のどちらかを選択

4. ワークフローに必要な情報を入力して依頼登録

文書種類を患者情報、診療科、指導医を選択
演習では「神経内科 村田頭也」を追加

名前で検索できる

検索を押すと患者氏名
が自動入力される

指導医の診療科を選ぶ

自分+指導医を入力

ワークフロー参加者を入
れる。自分は選択済み
なので指導医を追加す
る。

指導医は複数人選べる

最後に押す

5. ワークフローから記載画面を開く
 記入したいワークフローをダブルクリックして編集

6a. カルテを作成する (演習)
 今回は練習でPACSからMR画像を貼り付ける。

6b. カルテを作成する (演習)
 電子カルテ (MegaOak) のウィンドウに切り替える

6c. カルテを作成する (演習)
 電子カルテの画面からPACSを起動

6d. カルテを作成する (演習)
 PACSからMR画像を開く

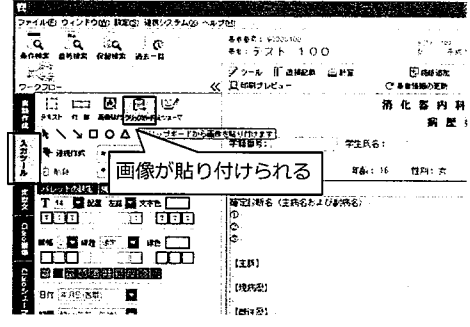
6e. カルテを作成する (演習)
 タスクバーのTryshotでキャプチャー開始する

6f. カルテを作成する (演習)
MRの画像をキャプチャーする



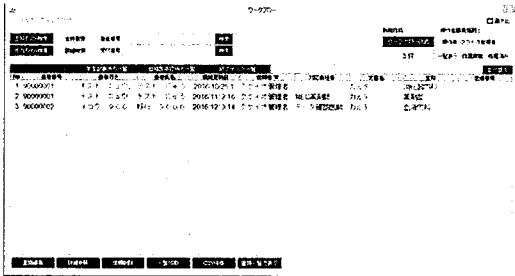
変化したカーソルでこのあたりを範囲指定

6g. カルテを作成する (演習)
MRの画像をキャプチャーする



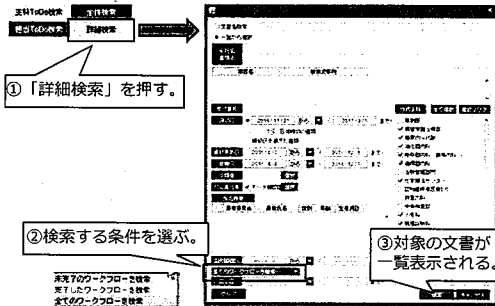
指導医に提出 (演習はここまで)

7. 指導医から差し戻しがあった場合
一覧に赤字で表示されるので開いて修正する



8. 完了したカルテの検索方法

指導医に承認されたカルテは詳細検索で確認できる。



学生に送らせたカルテのサンプル。(画像の貼り付けの練習)

ドキュメーター

ファイル(F) ウィンドウ(W) 設定(S) 連携システム(X) ヘルプ(H)

条件検索 番号検索 保留検索 過去一覧

患者番号: 90000102 テスト 102 昭和45年1月1日 (48歳) 神経内科 書類日付 2018/2/5 編集状態 記載

患者: テスト 102 テスト 102 女 昭和45年1月1日 (48歳)

ツール | 直接記載 | 計算 | 縦紙追加 | 印刷プレビュー | 患者情報の更新 | 描画

ワークフロー

100% 1 / 1

学生用症例カルテ

出席番号: 57 学籍番号: [不明] 学生氏名: 村田 裕子 作成日: 2018年2月5日

患者氏名: テスト 102 よみ: テスト 102 年齢: 48


<学生記入欄>

【主観的情報 (Subjective)】

【客観的情報 (Objective)】

【評価 (Assessment)】

【計画 (Plan)】



村田より

定型文表示 閉じる

ワークフロー詳細 依頼済 学生記載中 印刷のみ 依頼せず保存 医師へ承認依頼 キャンセル

職員名簿

カナ氏名	漢字氏名	所属	職名	職種	所属番号
■■■■■	■■■■■	教育研究開発センター(スキルスラボ)	臨時職員	事業担当補助職員	■■■■■
■■■■■	■■■■■	教育研究開発センター(スキルスラボ)	臨時職員	看護師	■■■■■

教務・学務システム検討ワーキング

所 属 ・ 職 名	氏 名
医学部長	村 垣 泰 光
保健看護学部長	柳 川 敏 彦
参事（薬学部長予定者）	太 田 茂
入試・教育センター長	平 井 秀 一
教育研究開発センター長	村 田 顕 也
学生部長	山 田 源
医療情報部長	山 本 景 一

その他

資料27



和歌山県立医科大学の学内ページです。(学内LANからのアクセスのみ参照が可能です。)

[人事・給与関係](#)[広報関係](#)[ワークライフバランス](#)[研究支援](#)[学内LAN関係](#)

(インターネット、メール、
ウイルス対策、ホームページ)

[医療情報システム](#)[各申請書等様式](#)[大学評価関係](#)[医学教育分野別評価関係](#)[病院機能評価関係](#)[薬学部設置関係](#)[その他](#)

高度医療人育成センター5階 研修室の予約

- [予約・使用上の注意](#) 
- [予約表](#)
- [予約方法説明](#) 
- [申請書](#) 

国際交流センターからのお知らせ

「オーストラリア政府による奨学金『エンデバー奨学金』」について

- [募集要項](#) 

「ストックホルム国際青年科学セミナーの募集」について

- [募集要項](#) 

「アメリカ留学EXPO2018」について

- [募集要項](#) 

「フランス政府給費留学生」について

- [募集要項](#) 

Eラーニングシステム

- [Eラーニングシステム \(インターネット・ナビウェア\)](#)



教育職員

森 めぐみ

医学部勤務を命ずる

和歌山県立医科大学教育研究開発センター担当を命ずる

任期は平成32年（2020年）3月31日までとする

平成31年 4月 1日

公立大学法人和歌山県立医科大学

理事長

宮下和久



Certificate for Medical Clerkship

After having passed the premedical examination the medical student

(Name) [redacted]

Born on [redacted] in

Has performed a medical clerkship in the following field(s):

- 1. Emergency and Critical Care Medicine
- 2. Surgery I (Thoracic and Cardiovascular)

The uninterrupted clerkship was between Apr. 6, 2016 and
... Apr. 28, 2016

811-1 Kimiddera, Wakayama city, Location
Japan

..... May 19, 2016 Date

Wakayama Medical University

.....
(Name of Institution)

Official seal

For Surgery I

For Emergency and Critical Care Medicine

Yoshitaka Okamura

Sayu Kato

.....
Signature of training physician

【検討経過】

●ワーキングメンバー（情報管理委員会の下に設置）

氏名	所属	役職
井原 義人	生化学講座	教授（学生部長）
近藤 稔和	法医学講座	教授（図書館長）
下川 敏雄	臨床研究センター	教授（副センター長）
中尾 直之	脳神経外科学講座	教授（副院長）
牧野 誠司	教養・医学教育大講座	教授
増田 匡裕	保健看護学部	教授
水本 一弘	医療安全推進部	病院教授（部長）
村田 顕也	教育研究開発センター	教授（センター長）
入江 真行	医学医療情報研究部	病院教授（医療情報部長）
新谷 幹雄	事務局	次長
川上 守	紀北分院	分院長（副院長）
田島 文博	みらい医療推進センター	教授（センター長）
島 佳弘	学生代表メンバー	学生自治会長

●ワーキング日程

回	検討内容
第1回 (11月6日)	<p>【現状について】 現状の学内LAN及び医療情報システムの管理上の問題点</p> <p>【必要とする取組】 学内ネットワークに今後必要なシステム、サービス等について</p>
第2回 (11月30日)	<p>【必要とする取組（継続）】 現状の問題点への対応について 情報基盤センターに望むこと</p>
第3回 (12月18日)	<p>【業務範囲】 情報基盤センターに望むこと（継続） 情報基盤センターの業務範囲について</p>
第4回 (2月7日)	<p>【総括】 ワーキング検討内容のまとめ</p>

【検討結果】

●組織について

名称	名称を「和歌山県立医科大学情報基盤センター」とする。
業務	<p>現行の体制（経理課／医療情報部）とは切り離し、大学内ネットワークの運用管理を始めとする学内の情報関係業務に特化する。</p> <p>なお、病院医療情報システムの運用管理は引き続き医療情報部が行う。</p>
人員体制	<p>技術職員、事務職員及び情報関係教員が所属する。教員の内1名を専任とすることを要望する。</p> <p>なお、大学内ネットワークの管理は外部に委託し、トラブルへの迅速な対応を行う。</p>

●今後検討すべき事項

区分	事項
全般	クラウドの積極的な利用
	病院情報との連携
基盤	ネットワークの強化 (トラフィックの軽減、外部へのVPN接続環境整備)
	講義利用等のために外部に問題なく接続できるネット環境の整備
	ゲスト用Wi-Fi環境の整備（講堂、大研修室等） 学生Wi-Fiの拡充（利用者アンケート調査）
教育	情報専門教員を配置（1名）し、情報教育に対応
	入試制度の情報化への対応
	成績管理を行う部署の検討
	教学IR担当部署（データ分析を行う部署）の検討 電子カードを使った出席管理
システム	e-learningシステムの改善 (統合、大学外・病院外からの利用環境提供)
	グループウェア（施設予約機能など）の導入検討
	ホームページについてワードプレスの導入検討

紀北分院（総合診療科）

I. 目 標

A. 一般教育目標

臨床実習の総まとめとして実臨床における医師として責任感、積極性、学習意欲を涵養し、診療に必要な思考力、問題解決能力、チーム医療を統括する能力の習得に努める。特に実習を通じて病歴と身体診察が臨床の基本であることの大切さを知り、臨床推論能力を身につける。

B. 個別行動目標

- (1) 医療面接・身体診察ができる。
- (2) 検査計画を立てて、結果解釈ができ、丁寧に説明ができる。
- (3) 治療計画が立てられ、遂行できる。
- (4) 症例提示を行え、上級医とディスカッションできる。
- (5) コメディカルとの協働、医療介護連携について理解できる。
- (6) 症例の問題解決のために必要な情報、論文を収集し、解釈できる。

II. 指導医師

教授1名、講師1名、助教3名、学内助教1名

III. 実習内容

- (1) 診療スタッフの一員となって担当入院患者の診療に参加する（単なる見学ではない）。研修医に近い形で診療に参加する。
- (2) 実担当の医師から直接指導を受ける。
- (3) 臨床実習用のカルテに医療面接、身体診察の記載、検査計画や治療計画などを記載する。実臨床の経過も踏まえて、結果の評価などを記載する。それをもとにコメディカルスタッフも交えた症例検討会などでプレゼンテーションを行う。
- (4) スタッフが行っている抄読会や画像カンファレンスなどにも参加する。

IV. 評 価

実習内容の最終的な記載カルテとプレゼンテーションにより総合的に評価する。

	月		火		水		木		金	
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM
眼科	泉谷	永井	石川	雑賀 [第1週] 岡田 [第3週] (眼科新患も含む)	泉谷	子ども外来 (泉谷)	永井	泉谷	石川	術前外来 (泉谷・石川・永井)
					黄斑外来 (石川)				永井	黄斑外来 (石川)
小児科	青柳		樋口	青柳	米良(深)	青柳	青柳		米良(深)	

■ 認知症疾患医療センター

	月		火		水		木		金	
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM
認知症疾患医療センター		大岩		廣西			廣西			中西(一)

診察受付 月曜～金曜：午前8時45分～11時30分

※第1週の水曜日午後は、加藤医師が救急対応

著作権・リンクについて 免責事項

〒649-7113
和歌山県伊都郡かつらぎ町妙寺219
和歌山県立医科大学附属病院 紀北分院

電話番号(代表)

0736-22-0066

電話番号のお掛け間違いにご注意ください

紀北分院予約センター

0736-22-4600

電話番号のお掛け間違いにご注意ください

▶予約センター
登録 QR コード



令和元年 月 日

教育研究開発センター長 様
(学生課扱い)

授業評価に係る改善計画等について (回答)

講 義

○ 所 属 :

○ 職 氏 名 :

○ 担当科目 :

- ※ 評点が低い項目や前回と比して著しく低い項目がある場合、該当項目欄に「改善計画」を御記入願います。
- ※ 「全般」欄には評点に関係なく、すべての教員において「目標等」を御記入願います。

全 般	全体を通して (下記項目以外)
改善計画・ 目標等	
質問項目 1	授業の開始時間に対し散漫でなく、授業内容に対して時間配分は適切でしたか?
改善計画等	
質問項目 2	授業の構成、内容は十分準備されていましたか?
改善計画等	
質問項目 3	授業はわかりやすかったですか?
改善計画等	
質問項目 4	授業の内容に興味を持つことができましたか?
改善計画等	
質問項目 5	授業の内容が教育要項に準拠していましたか?
改善計画等	

○ 学生による授業評価について

教育内容の充実や教授法の改善に役立てるため、学生による授業評価を実施する。担当教員の授業について学生側からの評価をアンケート方式により行う。

1. 評価対象
3コマ以上の講義を担当する教員（教授、准教授、講師、非常勤講師、助教）
2. 評価項目
下記「授業評価アンケート」参照
3. 実施方法・時期
担当教員の最終授業の終了後及び実習、試験の終了後
アンケート用紙の配布・回収・集計等については別途定める。
4. 活用方法
授業担当教員へ評価をフィードバックして、次年度以降の授業の改善に役立てる。
5. 通知・閲覧・公表
学生課において、集計結果を保管するとともに、集計終了後、速やかに担当教員に通知する。
授業評価については、医学部長、学生部長、入試教育センター長、教育研究開発センター長が総括を行い、公表する。全教員の個別の結果は学内ホームページに掲載する。
6. その他
各教員の講義に関する評価の他、実習（臨床実習を含む）及び試験についても評価する。
教員の評価、ベストティーチャー賞にも反映することから、必ず入力又は記入すること。

※評価アンケートの実施方法・内容については、教育研究開発センター教育評価部会において検討し、改訂することがある。

授業評価アンケート

教科 _____ 担当教員氏名 _____

設問1～5について当てはまるところにをしてください。

(まったく思わない←-----→とても思う)

- | | | | | | | |
|---|---|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 1 | 授業の開始時間に対し散漫で無く、授業内容に
対しての時間配分は適切であった。 | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> | ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 2 | 授業の構成、内容は十分準備されていた。 | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> | ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 3 | 授業は分かりやすかった。 | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> | ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 4 | 授業の内容に興味を持つことができた。 | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> | ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 5 | 授業の内容が教育要項に準拠していた。 | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> | ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 6 | その他、意見があれば自由に記載してください。 | | | | | |

※教員の評価、ベストティーチャー賞にも反映することから、必ず入力してください。
※このアンケートは授業の改善、大学評価の資料とする場合があります。

実験・実習評価アンケート

実習科目名 _____

設問1～17については当てはまるところにをしてください。

(まったく思わない←-----→とても思う)

- | | |
|---|--|
| 1 実験・実習の必要性や位置づけが明確であった。 | ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 2 実験・実習内容の分量は適切であった。 | ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 3 実験・実習のレベルは適切であった。 | ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 4 実験・実習で取り上げられた事柄は興味ある内容であった。 | ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 5 この実験・実習で学んだことは今後役に立つ。 | ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 6 教員の熱意や意欲を感じた。 | ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 7 説明の仕方は分かりやすかった。 | ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 8 実験・実習を行ううえで、人数・グループ分けは適切であった。 | ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 9 実験・実習に必要な設備・器具は整っていた。 | ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 10 実験・実習上の注意事項について十分な説明があった。 | ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 11 学生からの質問に対して適切な指導があった。 | ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 12 提出したレポート・スケッチに対する指導は十分であった。 | ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 13 実験・実習を受講するうえで、実習テキスト（プリント含む）は役に立った。 | ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 14 この実験・実習に積極的に参加できた。 | ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 15 原理や操作手順を十分に理解して実験・実習に臨むことができた。 | ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 16 レポート・スケッチを自分自身で作成できた。 | ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 17 実験・実習の内容を理解できた。 | ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 18 この実験・実習について、改善してもらいたい点を含め、長所・短所等を自由に記載（マークシート裏面に記載）してください。 | |

※教員の評価、ベストティーチャー賞にも反映することから、必ず記入してください。

※このアンケートは授業の改善、大学評価の資料とする場合があります。

臨床実習評価アンケート

診療科 _____

設問1～16については当てはまるところに☑をしてください。

A. 指導医について

(まったく思わない←-----→とても思う)

- | | | | | | | |
|---|--------------------------------|---|---|---|---|---|
| 1 | 指導医と討論する時間が充分にあった。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 2 | 親切に接してくれた。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 3 | 問題点を見つけるよう適切に指導してくれた。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 4 | 時間を厳守するよう適切に指導してくれた。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 5 | 実習中の最終目標を明確に示してくれた。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 6 | 毎日の目標を示してくれた。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 7 | 医学的知識について適切に指導してくれた。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 8 | 医学的スキルについて適切に指導してくれた。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 9 | 知識・スキルについて誤りがあった場合、注意や指導してくれた。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |

B. セミナーについて (行われなかった場合は記入不要です。)

- | | | | | | | |
|----|-----------------------|---|---|---|---|---|
| 10 | よく準備された教材を使用してくれた。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 11 | 病態との関連について適切に説明してくれた。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |

C. 自己評価

- | | | | | | | |
|----|----------------------|---|---|---|---|---|
| 12 | 知識が増えた。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 13 | 基本的スキルができるようになった。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 14 | 診断・治療の選択が可能になった。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 15 | 症例の提示(発表)ができるようになった。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |

D. 臨床実習の総合的評価

(悪い←-----→良い)

- | | | | | | | |
|----|------------------------|---|---|---|---|---|
| 16 | 臨床実習を総合的に評価してください。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 17 | その他、意見があれば自由に記載してください。 | | | | | |

※教員の評価、ベストティーチャー賞にも反映することから、必ず入力してください。
※このアンケートは授業の改善、大学評価の資料とする場合があります。

試験評価アンケート

教科 _____

設問1～2については当てはまるところに☑をしてください。

(まったく思わない←-----→とても思う)

- | | | | | | | |
|---|-------------------------|---|---|---|---|---|
| 1 | 試験の内容は講義内容(教育要項)に即していた。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 2 | 試験時間は適正であった。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 3 | その他、意見があれば自由に記載してください。 | | | | | |

※教員の評価、ベストティーチャー賞にも反映することから、必ず提出してください。
※このアンケートは授業の改善、大学評価の資料とする場合があります。

開催した部会一覧

入試制度検討部会

第1回

開催日時：平成29年9月5日（火）

- 議 事： 1. 医学部一般入試（前期日程）個別学力検査の試験時間について
2. 平成30年度医学部学生募集要項の記載事項について
3. 大学入学共通テスト実施方針等について

教育評価部会

第1回

開催日時：平成29年6月13日（火）

- 議 事： 1. 卒業試験について
2. PCC-OSCE について
3. 仮進級について
4. TOEFL について

第2回

開催日時：平成29年8月2日（水）

- 議 事： 1. 進級について
2. TOEFL について

第3回

開催日時：平成29年11月10日（金）

- 議 事： 1. 卒業試験の合否判定について
2. 授業評価の項目の見直しについて
3. 平成30年度履修要領について

第4回

開催日時：平成29年12月11日（月）

- 議 事： 1. 卒業試験（再試験）の合否判定について
2. ベストティーチャー賞の推薦について

第5回

開催日時：平成30年3月28日（水）

議 事：次年度以降の本学卒業試験について

カリキュラム専門部会

第1回

開催日時：平成29年8月3日（木）

議 事：平成30年度カリキュラムについて

第2回

開催日時：平成29年9月25日（月）

議 事：平成30年度カリキュラムについて

自己評価委員会

開催日時：平成30年3月8日（木）

議 事：平成28年度事業実績報告について

FD部会

開催日時：平成29年8月10日（木）

議 事：1. FDの本年度計画について
2. FD研修会の出席率について

医学教育分野別評価部会

第1回

開催日時：平成29年4月17日（月）

議 事：外部評価報告書に対する「改善報告書（案）」について

第2回

開催日時：平成29年5月8日（月）

議 事：外部評価報告書に対する「改善報告書（案）」について



部会・委員会

教育評価部会

入試制度検討部会

カリキュラム専門部会

臨床技能教育部会

FD部会

和歌山SPの会

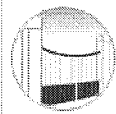
部会・委員会

HOME>部会・委員会



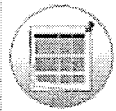
教育評価部会

- » お知らせ
- » 活動報告
- » 規程・運営要項



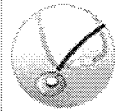
入試制度検討部会

- » お知らせ
- » 活動報告
- » 規程・運営要項



カリキュラム専門部会

- » お知らせ
- » 活動報告
- » 教育要項
- » 規程・運営要項
- » カリキュラムの変更点



臨床技能教育部会

- » お知らせ
- » 活動報告
- » OSCE部会
- » CBT部会
- » 規程・運営要項



FD部会

- » お知らせ
- » 活動報告
- » 規程・運営要項



和歌山SPの会

- » お知らせ
- » 活動報告
- » SPの会ご出欠連絡フォーム

▲ページTOPへ